

東大阪市
子ども子育て支援事業に関する
ニーズ調査報告書

【前回調査(平成31年)との比較(抜粋)】

令和6年7月
大阪府 東大阪市

目次

第1章 調査実施の概要	1
調査の目的	1
調査の実施方法	1
調査の総括	2
第2章 調査結果について(就学前児童・小学生).....	4
お子さんの保護者の方の就労状況について	5
平日(月～金)の定期的な教育・保育事業の利用について	7
地域の子育て支援事業の利用状況について	14
土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について	19
宛名のお子さんの病気の際の対応について	20
不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて	23
学校就学後の平日の放課後の過ごし方について(就学前児童).....	24
平日の放課後の過ごし方について(小学生).....	30
育児休業制度など、仕事と子育ての両立について	31
第3章 調査結果について(産婦)	33
あなたとご家族の状況について.....	33
妊娠・出産や子育てに関する相談や情報入手について	35
就労状況と職場の両立支援制度について	36
子どもや子育てについて.....	38

第1章 調査実施の概要

調査の目的

市民の子育てに関する実態および意識についてアンケート調査を通して把握し、今後の教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出することなどを目的として実施した。調査結果については令和7年度（2025年度）から5年間を計画期間とする「第3期 東大阪市子ども・子育て支援事業計画」を作成するための基礎資料として活用し、子ども・子育て施策の充実に向けた新たな取り組みや拡充等の検討材料として活用するものとする。

調査の実施方法

各調査票の配布数及び調査期間、実施方法は以下のとおり。

- 調査期間 令和6年2月15日～令和6年3月15日
- 調査方法 郵送による配布・回収（Web回答フォームを併用）
- 調査票の種類と調査対象者及び調査票の配布数等

①第3期子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査（就学前児童のいる世帯）	
調査対象者	令和5年12月1日時点で、市内に居住する就学前児童の保護者（無作為抽出）
調査票配布数	5,600件
有効回収数	2,054件（有効回収率36.6%）

②第3期子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査（小学生のいる世帯）	
調査対象者	令和5年4月1日時点で、市内に居住する〈就学児童〉保護者（無作為抽出）
調査票配布数	3,000件
有効回収数	1,307件（有効回収率43.5%）

③第3期子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査（産婦向け）	
調査対象者	令和5年12月1日時点で、市内に居住する保護者（無作為抽出）
調査票配布数	400件
有効回収数	206件（有効回収率51.5%）

調査の総括

■就労状況の変化

母親の就労割合は上昇傾向となっており、フルタイム勤務の割合が増加

母親の就労状況についての推移を見ると、「就労していない」割合が減少傾向となっており、母親の就労が増加していることがうかがえる。就労状況の内訳としては特に「フルタイム」就労している方の割合が増加しており、前回調査※：30.9%から今回調査※：40.4%と約10ポイント増加しています。

※前回調査：平成31年度調査、今回調査：令和5年度調査

■定期的な教育・保育事業の利用について

利用率は前回調査と比べ減少、企業主導型保育事業の利用割合が大きく増加

定期的な教育、保育の利用率は、前回調査より低くなっています。

利用している施設の種類の増加（既存の幼稚園や保育所からの移行）が進んだことなどにより、「認定こども園を保育所として利用」の割合が、前回調査：34.6%から今回調査：45.6%となっており、約10ポイント増加しています。

また、企業主導型保育事業の利用割合が前回調査：2.9%から今回調査：10.7%と、約7ポイント増加しています。

無償化によって希望する事業種別に大きな差異は見られない一方で、0～2歳児での「認定こども園」「認可保育所」の利用希望割合はやや増加

無償化に関わらず、利用したい事業の種別について特筆する変化はみられませんでした。

一方で、0～2歳児での「認定こども園」及び「認可保育所」の無償化後の利用希望の割合はやや増加しており、定期的な教育・保育の利用について利用料の無償化による利用希望の変化が見られます。

■地域の子育て支援事業について

地域子育て支援拠点事業で利用したいサービスについてはほぼ変わらず

地域子育て支援拠点事業で利用したいサービスについて見ると、ほとんどのサービスで前回調査と同水準または微減となっています。

■病児・病後児の対応について

親が仕事を休んで対応するケースが多く、病児・病後児保育施設についての不安もうかがえる

病児・病後児の対応について、親が休んで対応した際の要望として「できれば病気の子どものための保育施設などを利用したい」の割合は就学前児童調査：36.6%、小学生調査：10.6%となっています。

(前回調査についても同程度。)一方で、一部の方については「事業を知らなかった」(※今回調査にて選択肢を追加)と回答しており、引き続き事業の周知を図る必要があると考えられます。

利用したいと思わない理由としては、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できるので問題ない」が高くなっています。

病児・病後児保育を申し込んで利用しなかった方の理由については、「予約が一杯で利用することができなかった」がそれぞれ最も高くなっていますが、前回調査と比べると両調査ともその割合は減少しています。

■留守家庭児童育成クラブについて

低学年での留守家庭児童育成クラブの利用意向がやや増加

就学前児童調査において、小学校低学年での留守家庭児童育成クラブの利用意向は、前回調査：49.6%※、今回調査：54.0%※とやや増加しています。小学校高学年においては「自宅で留守番する」の割合が前回調査：28.1%※、今回調査：33.8%※とやや増加しています。

※無回答を除く集計における割合

土曜日、日曜・祝日、長期休業中は8時から預けたいという声が50%超

就学前児童の留守家庭児童育成クラブの休日等の利用開始時間は、「8時00分から」が土曜日で57.4%、日曜・祝日で55.0%、長期休業中で57.8%となっており、現在実施している8時30分よりも早い時間からの利用希望がみられます。

■育児休業制度等、仕事と子育ての両立について

育児休業の取得割合が大きく上昇

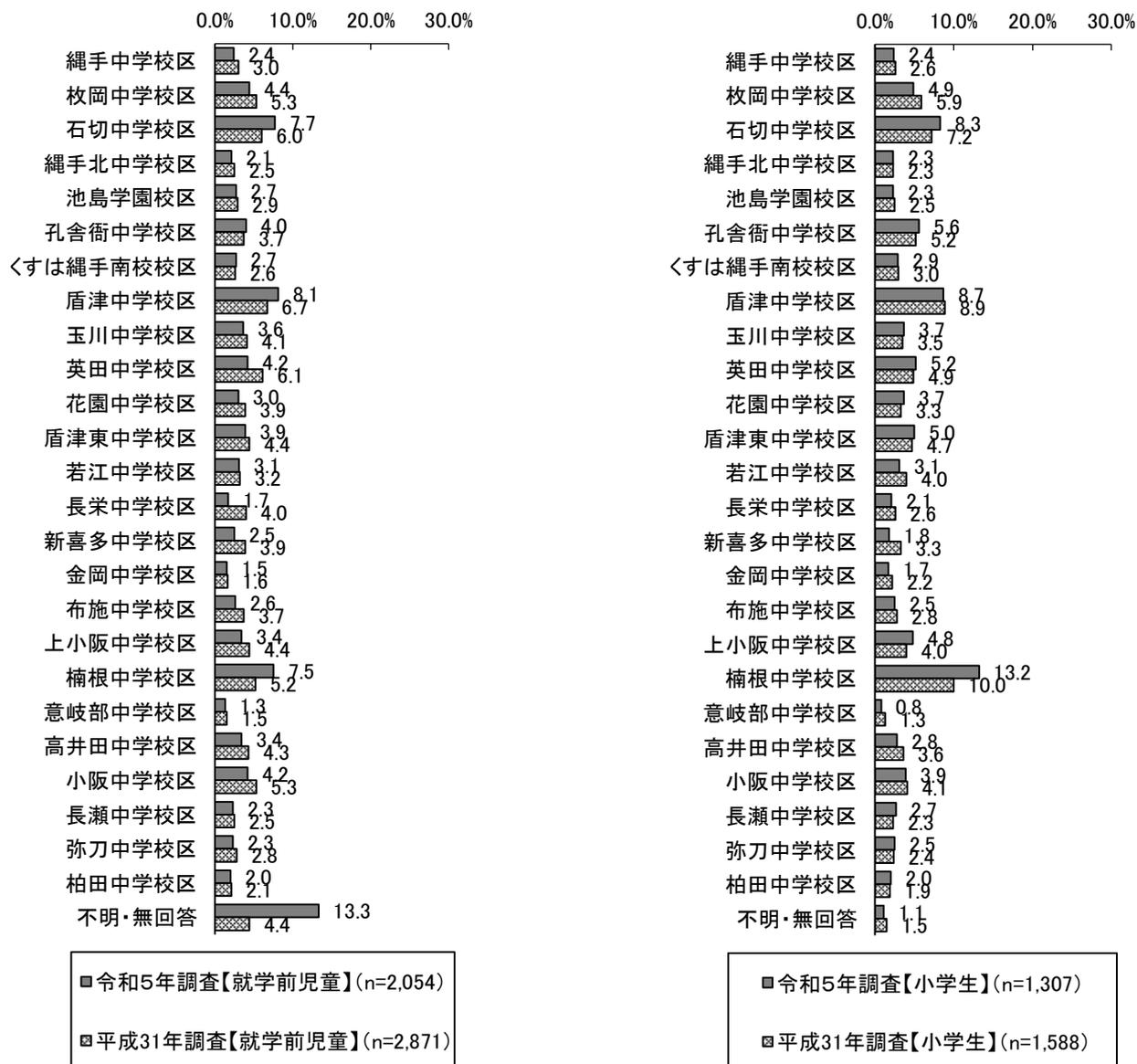
育児休業の取得状況は、前回調査と比べて「取得した(取得中)」の割合が父母ともに約13ポイント増加しています。このことについては、母親に関しては前回調査時よりも就労している人の割合が増加したこと、母親・父親ともに制度の充実や育児休業を取りやすくなっている現状がうかがえます。

第2章 調査結果について(就学前児童・小学生)

お住まいの地域(中学校区)(単数回答)[就学前問2、小学生問2]

お住まいの地域(中学校区)についてみると、就学前児童では「盾津中学校区」が8.1%と最も高く、次いで「石切中学校区」が7.7%、「楠根中学校区」が7.5%となっています。

小学生では「楠根中学校区」が13.2%と最も高く、次いで「盾津中学校区」が8.7%、「石切中学校区」が8.3%となっています。

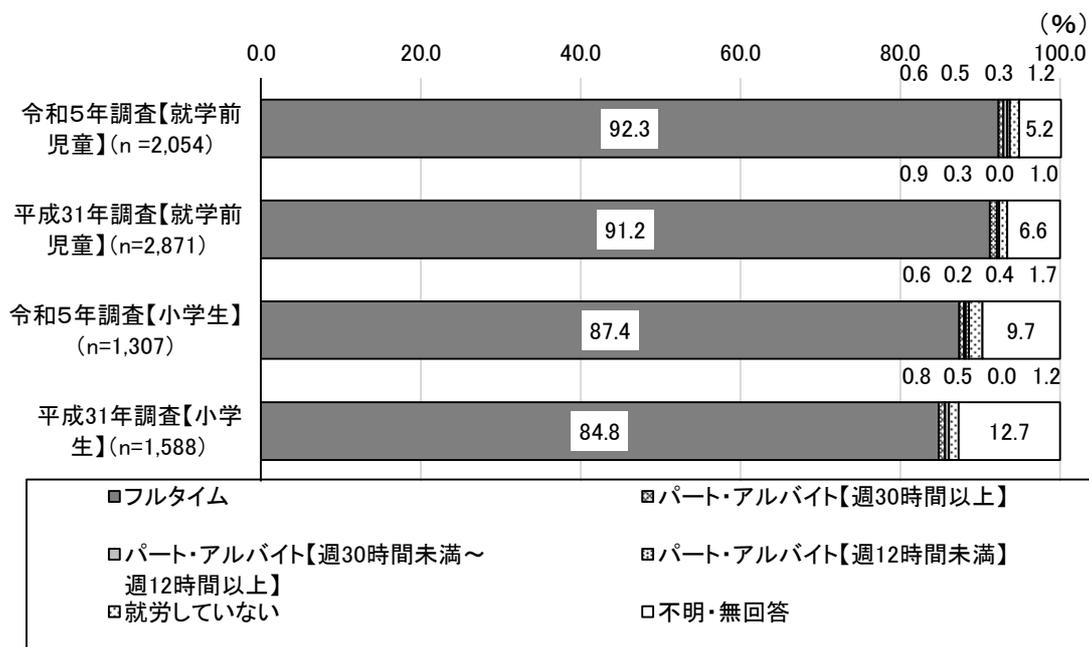


お子さんの保護者の方の就労状況について

父親/現在の就労状況(単数回答)[就学前問 16①、小学生問 14①]

父親の現在の就労状況についてみると、就学前児童では「フルタイム」が92.3%と最も高く、次いで「パート・アルバイト【週30時間以上】」が0.6%、「パート・アルバイト【週30時間未満～週12時間以上】」が0.5%となっています。

小学生では「フルタイム」が87.4%と最も高く、次いで「パート・アルバイト【週30時間以上】」が0.6%、「パート・アルバイト【週30時間未満～週12時間以上】」が0.4%となっています。



※選択肢について、「パート・アルバイト【週30時間未満】」を令和5年調査においては、「週30時間未満～週12時間以上」と「週12時間未満」に細分化して調査を行っている。

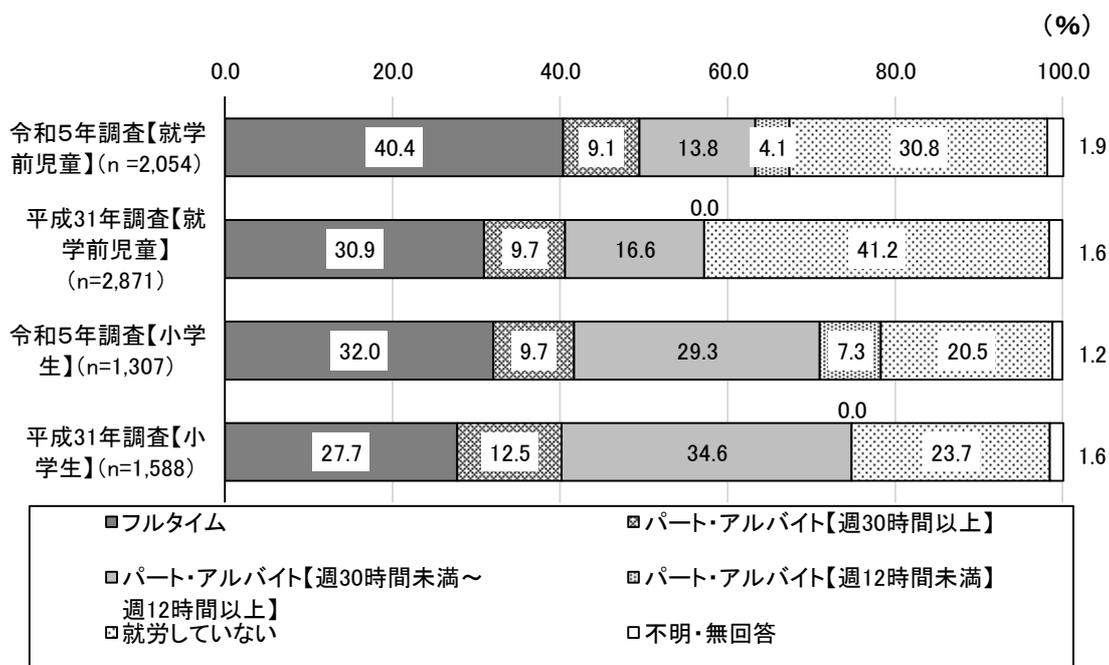
単位: %

就学前児童	平成25年度 (n=2,918)	平成29年度 (n=2,302)	平成31年度 (n=2,871)	令和5年調査 (n=2,054)
フルタイム	94.3	91.0	91.2	92.3
パート・アルバイト	1.8	1.2	1.2	1.4
就労していない	1.6	1.0	1.0	1.2
不明・無回答	2.4	6.8	6.6	5.2

母親/現在の就労状況(単数回答)[就学前問 16①、小学生問 14①]

母親の現在の就労状況についてみると、就学前児童では「フルタイム」が40.4%と最も高く、次いで「就労していない」が30.8%、「パート・アルバイト【週30時間未満～週12時間以上】」が13.8%となっています。

小学生では「フルタイム」が32.0%と最も高く、次いで「パート・アルバイト【週30時間未満～週12時間以上】」が29.3%、「就労していない」が20.5%となっています。



※選択肢について、「パート・アルバイト【週30時間未満】」を令和5年調査においては、「週30時間未満～週12時間以上」と「週12時間未満」に細分化して調査を行っている。

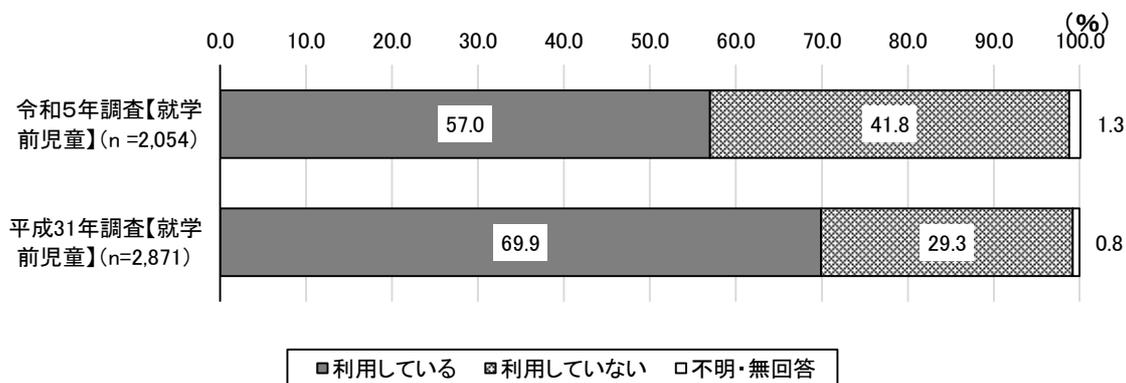
単位: %

就学前児童	平成25年度 (n=3,138)	平成29年度 (n=2,454)	平成31年度 (n=2,871)	令和5年調査 (n=2,054)
フルタイム	22.1	29.4	30.9	40.4
パート・アルバイト	22.6	24.1	26.3	27.0
就労していない	52.5	39.0	41.2	30.8
不明・無回答	2.8	7.5	1.6	1.9

平日(月～金)の定期的な教育・保育事業の利用について

お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用しているか(単数回答)[就学前問 19]

お子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用しているかについてみると、就学前児童では「利用している」が57.0%、「利用していない」が41.8%となっています。



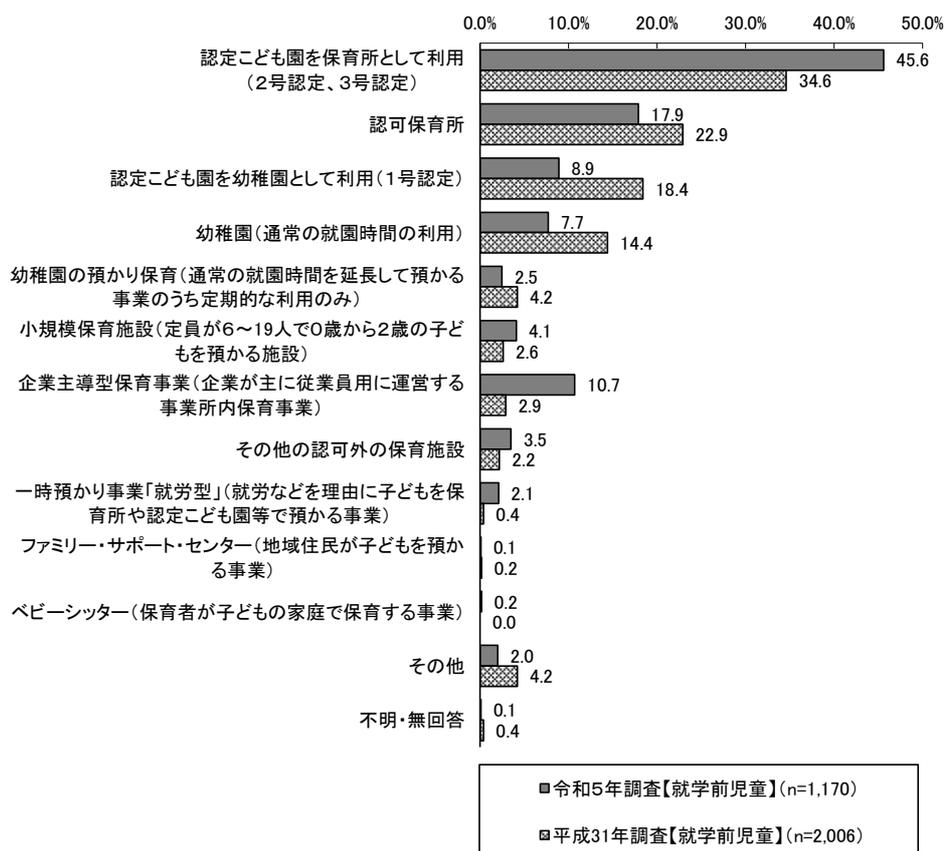
単位: %

就学前児童	平成25年度 (n=3,148)	平成29年度 (n=2,454)	平成31年度 (n=2,871)	令和5年調査 (n=2,054)
利用している	64.6	70.0	69.9	57.0
利用していない	35.2	30.0	29.3	41.8
不明・無回答	0.1	0.1	0.8	1.3

問 19 で「1.利用している」に○をつけた方

お子さんは、平日どのような「定期的な教育保育事業」を利用しているか(複数回答)[就学前問 19]

お子さんは、平日のどのような「定期的な教育・保育事業」を利用しているかについてみると、就学前児童では「認定こども園を保育所として利用(2号認定、3号認定)」が45.6%と最も高く、次いで「認可保育所」が17.9%、「認定こども園を幼稚園として利用(1号認定)」が8.9%、「企業主導型保育事業(企業が主に従業員用に運営する事業所内保育事業)」が10.7%となっています。



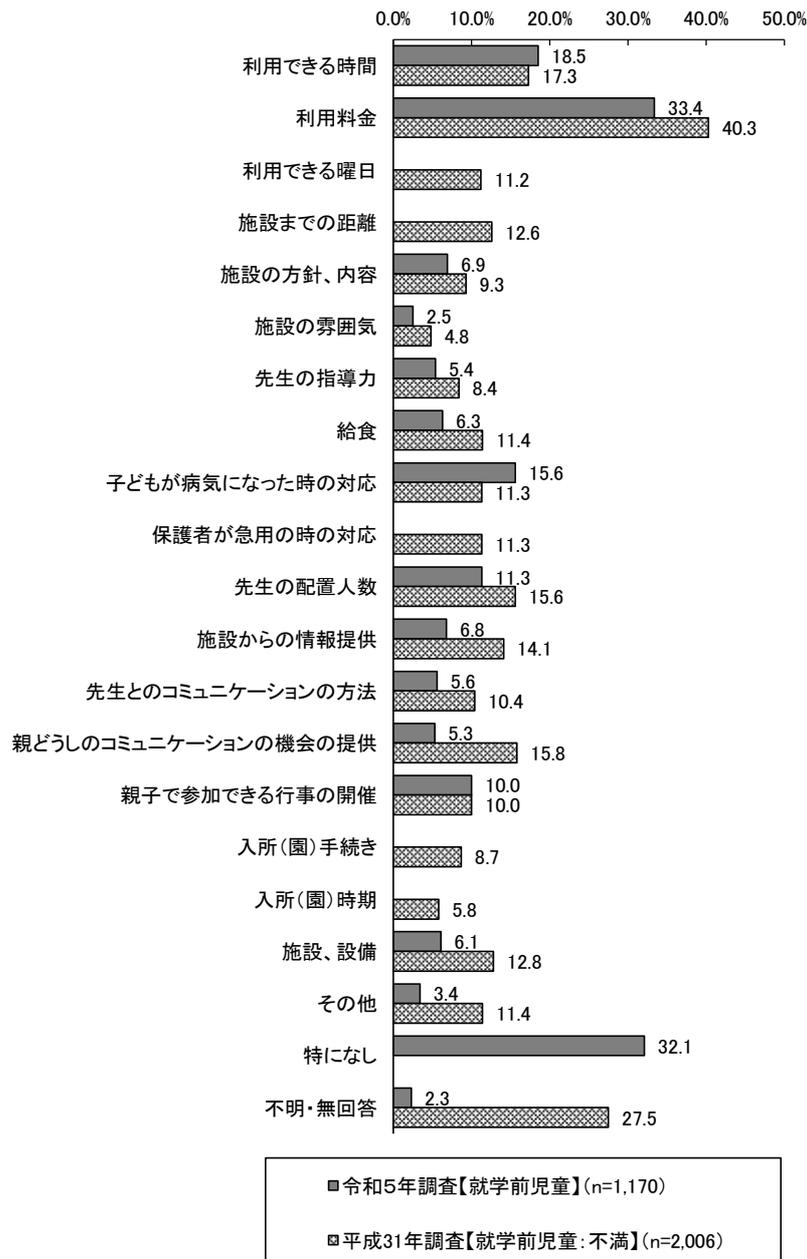
(複数回答)単位: %

就学前児童	平成25年度 (n=2,035)	平成29年度 (n=1,717)	平成31年度 (n=2,006)	令和5年調査 (n=1,170)
認定こども園を保育所として利用(2号認定、3号認定)	0.0	28.4	34.6	45.6
認可保育所	47.2	28.3	22.9	17.9
認定こども園を幼稚園として利用(1号認定)	0.0	18.0	18.4	8.9
幼稚園(通常の就園時間の利用)	43.7	19.2	14.4	7.7
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	9.9	5.5	4.2	2.5
小規模保育施設(定員が6~19人で0歳から2歳の子どもを預かる施設)	0.0	2.1	2.6	4.1
企業主導型保育事業(企業が主に従業員用に運営する事業所内保育事業)	1.7	1.9	2.9	10.7
その他の認可外の保育施設	3.5	1.4	2.2	3.5
一時預かり事業「就労型」(就労などを理由に子どもを保育所や認定こども園等で預かる事業)	0.0	0.5	0.4	2.1
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	0.2	0.3	0.2	0.1
ベビーシッター(保育者が子どもの家庭で保育する事業)	0.1	0.1	0.0	0.2
その他	3.3	1.7	4.2	2.0
不明・無回答	0.0		0.4	0.1

現在、利用されている教育・保育事業について、改善を希望すること(複数回答)[就学前問24]

※前回調査の質問文…現在、利用されている教育・保育事業について、不満に思っていること

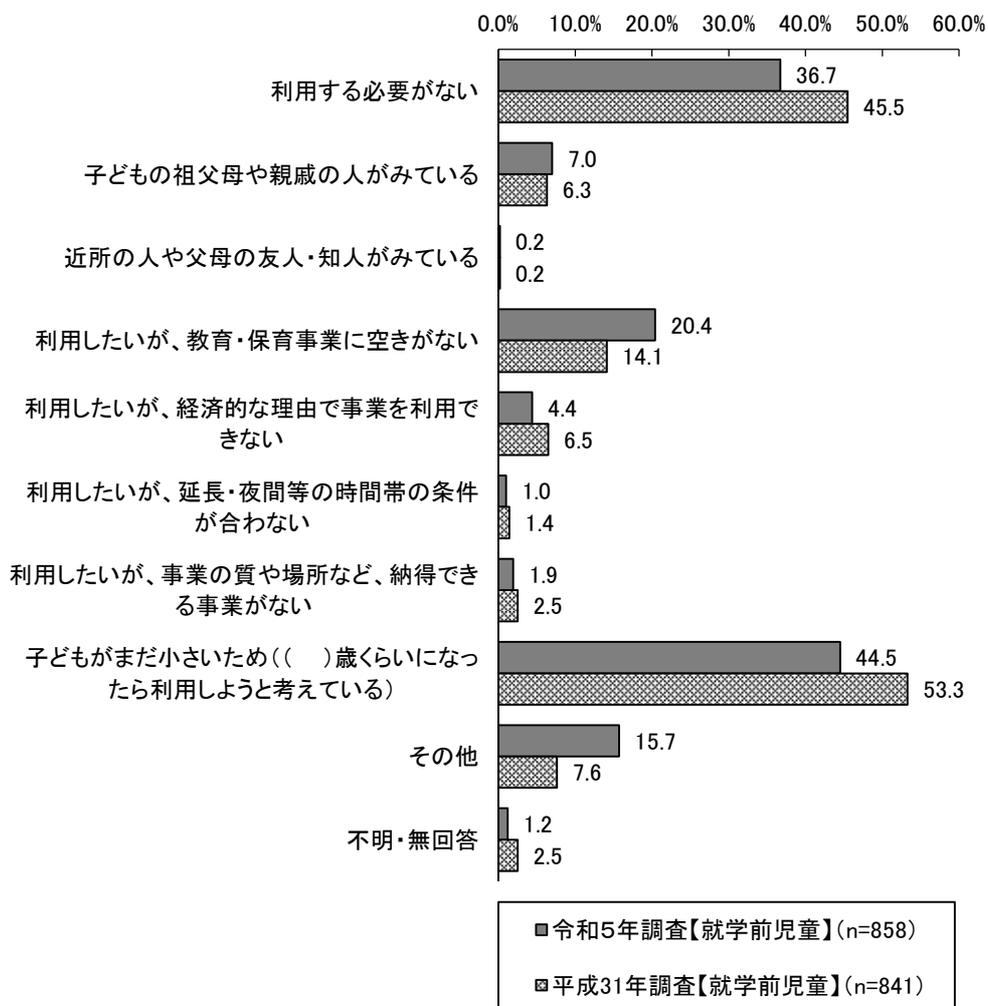
現在、利用されている教育・保育事業について、改善を希望することについてみると、就学前児童では不満に思っていることについてみると、「利用料金」が33.4%と最も高く、次いで「特になし」が32.1%、「利用できる時間」が18.5%となっています。



問 19 で「2.利用していない」に○をつけた方(定期的な教育・保育事業を利用していない方)

利用していない理由(複数回答)[就学前問 25]

利用していない理由についてみると、就学前児童では「子どもがまだ小さいため(()歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 44.5%と最も高く、次いで「利用する必要がない」が 36.7%、「利用したいが、教育・保育事業に空きがない」が 20.4%となっています。



平日利用したい教育・保育事業(複数回答)[就学前問 26①]

平日に利用したい教育・保育事業についてみると、就学前児童の【0歳】では「認可保育所」が18.4%と最も高く、次いで「認定こども園」が17.7%、「小規模な保育施設」が5.7%となっています。

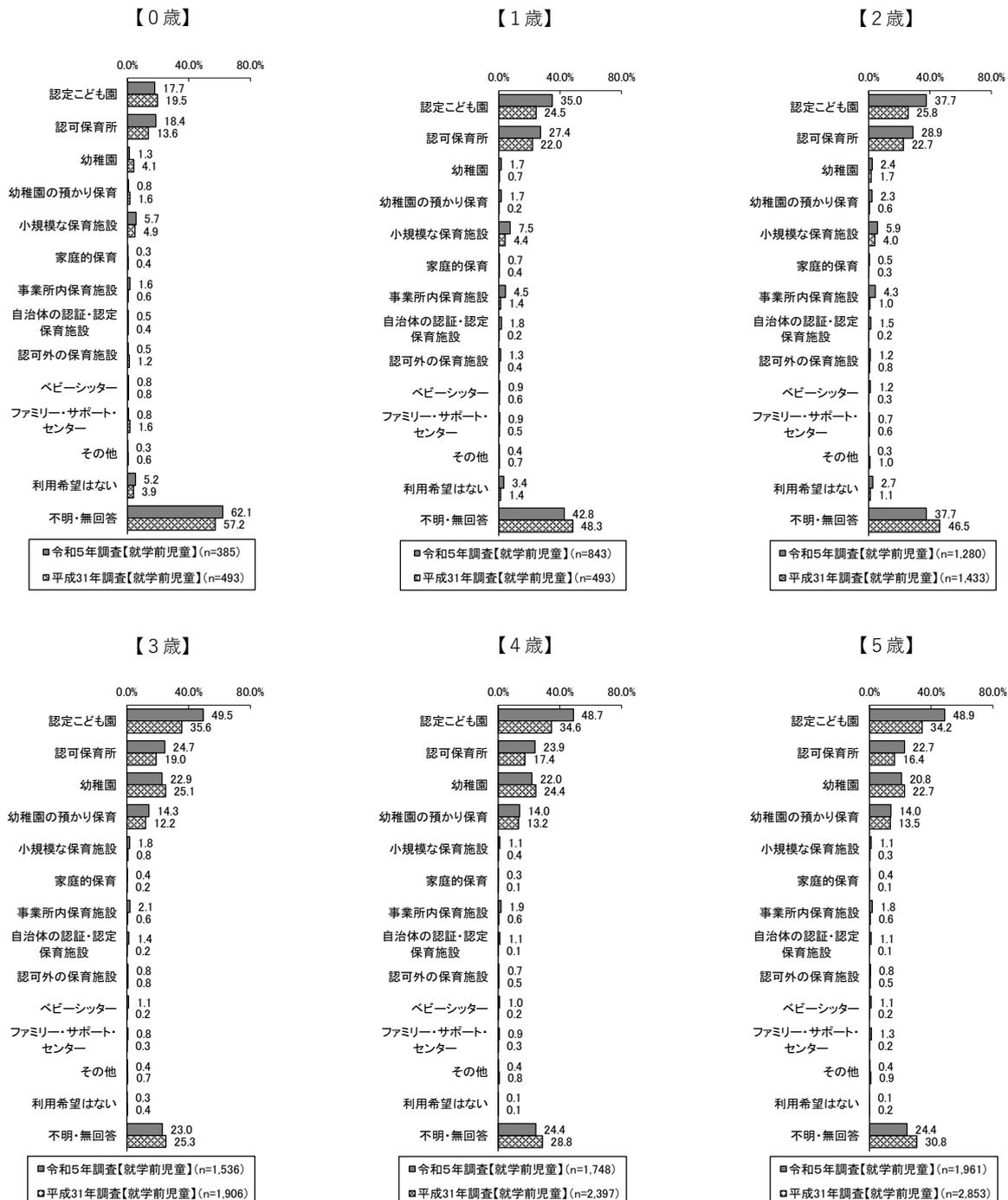
【1歳】では「認定こども園」が35.0%と最も高く、次いで「認可保育所」が27.4%、「小規模な保育施設」が7.5%となっています。

【2歳】では「認定こども園」が37.7%と最も高く、次いで「認可保育所」が28.9%、「小規模な保育施設」が5.9%となっています。

【3歳】では「認定こども園」が49.5%と最も高く、次いで「認可保育所」が24.7%、「幼稚園」が22.9%となっています。

【4歳】では「認定こども園」が48.7%と最も高く、次いで「認可保育所」が23.9%、「幼稚園」が22.0%となっています。

【5歳】では「認定こども園」が48.9%と最も高く、次いで「認可保育所」が22.7%、「幼稚園」が20.8%となっています。



利用したい事業【無償化実施後】(複数回答)[就学前問 26②]

利用したい事業【無償化実施後】についてみると、就学前児童の【0歳】では「認定こども園」が24.4%と最も高く、次いで「認可保育所」が22.9%、「小規模な保育施設」が7.3%となっています。

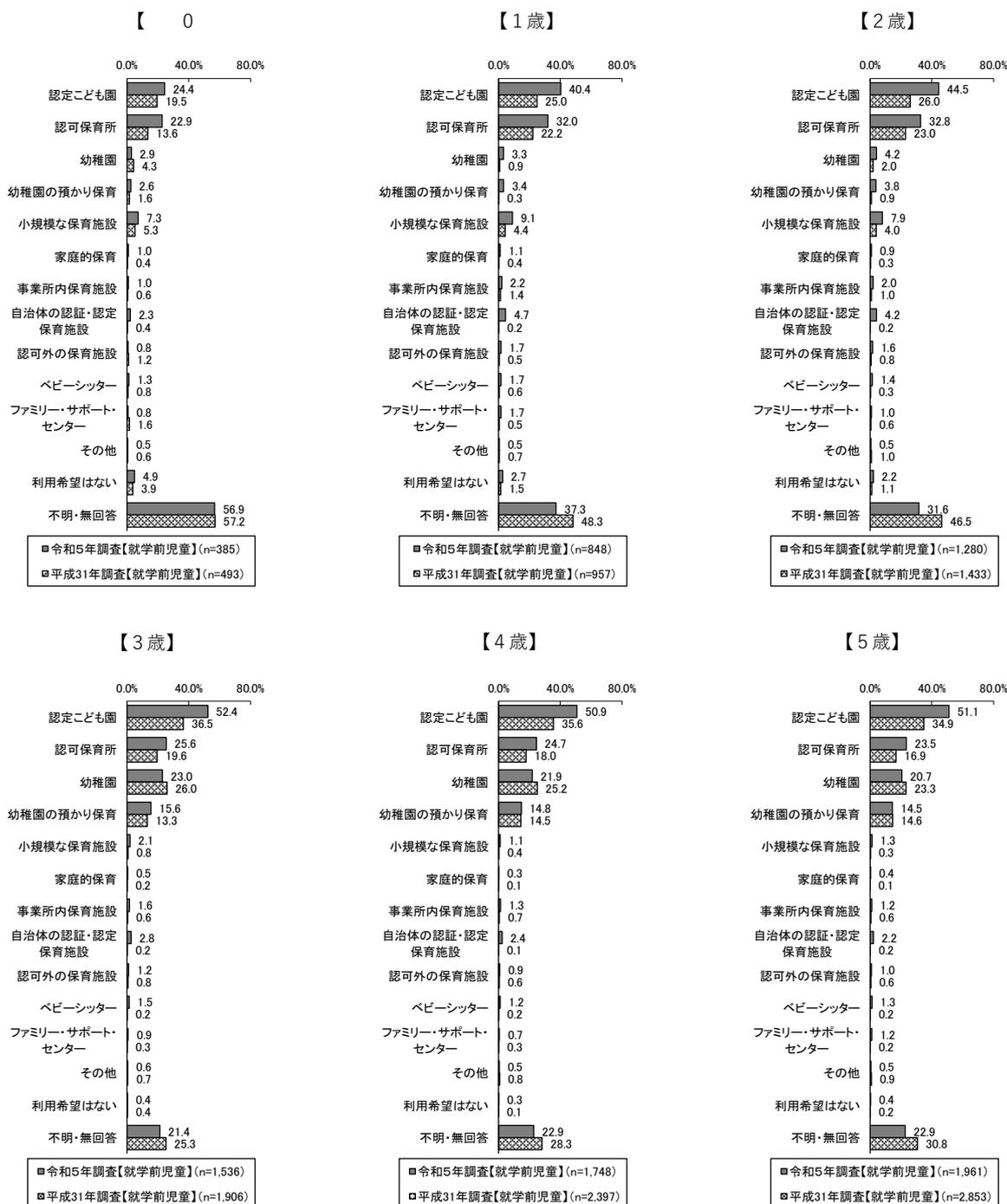
【1歳】では「認定こども園」が40.4%と最も高く、次いで「認可保育所」が32.0%、「小規模な保育施設」が9.1%となっています。

【2歳】では「認定こども園」が44.5%と最も高く、次いで「認可保育所」が32.8%、「小規模な保育施設」が7.9%となっています。

【3歳】では「認定こども園」が52.4%と最も高く、次いで「認可保育所」が25.6%、「幼稚園」が23.0%となっています。

【4歳】では「認定こども園」が50.9%と最も高く、次いで「認可保育所」が24.7%、「幼稚園」が21.9%となっています。

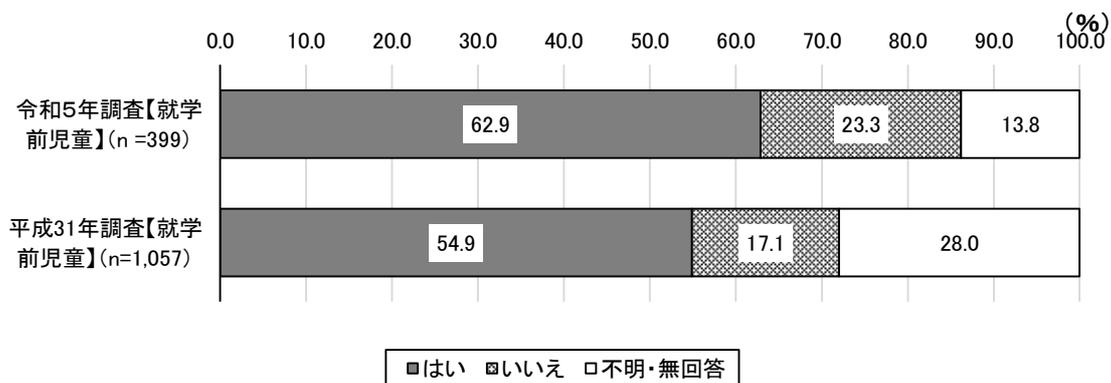
【5歳】では「認定こども園」が51.1%と最も高く、次いで「認可保育所」が23.5%、「幼稚園」が20.7%となっています。



問 26 で「3.幼稚園（通常の就園時間の利用）」または「4.幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）」に○をつけ、かつ他のサービスにも○をつけた方

特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望するか(単数回答)[就学前問 27]

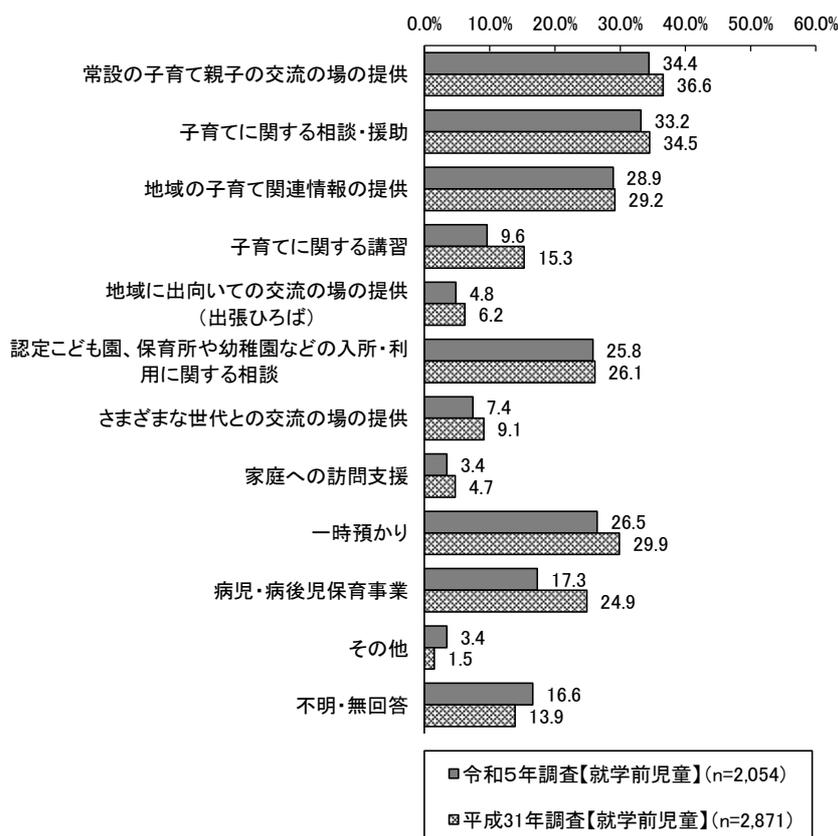
特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望するかについてみると、就学前児童では「はい」が 62.9%、「いいえ」が 23.3%となっています。



地域の子育て支援事業の利用状況について

地域子育て支援拠点事業で利用したいサービス(複数回答・上位3つ)[就学前問51]

地域子育て支援拠点事業で利用したいサービスについてみると、就学前児童では「常設の子育て親子の交流の場の提供」が34.4%と最も高く、次いで「子育てに関する相談・援助」が33.2%、「地域の子育て関連情報の提供」が28.9%となっています。

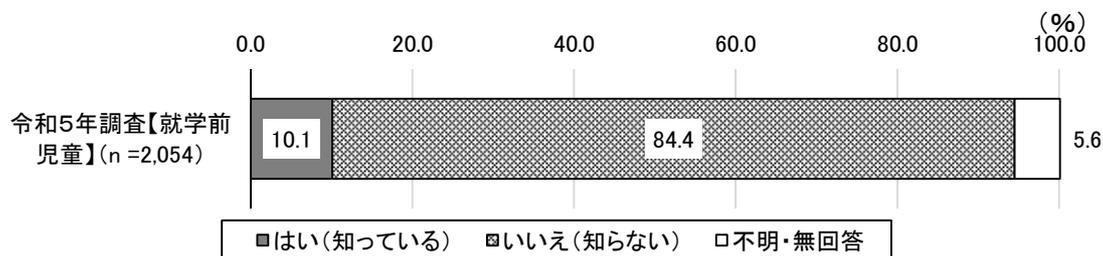


(複数回答)単位: %

就学前児童	平成25年度 (n=3,148)	平成29年度 (n=2,454)	平成31年度 (n=2,471)	令和5年調査 (n=1,713)
常設の子育て親子の交流の場の提供	43.9	54.7	42.6	41.2
子育てに関する相談・援助	34.2	45.8	40.1	39.8
地域の子育て関連情報の提供	29.8	36.8	33.9	34.7
子育てに関する講習	14.1	17.0	17.8	11.5
地域に向いての交流の場の提供 (出張ひろば)	9.8	8.2	7.2	5.7
認定こども園、保育所や幼稚園などの 入所・利用に関する相談	23.2	33.3	30.4	30.9
さまざまな世代との交流の場の提供	10.3	9.5	10.6	8.9
家庭への訪問支援	4.5	3.4	5.5	4.1
一時預かり	38.5	30.9	34.7	31.8
病児・病後児保育事業	28.3	22.9	29.0	20.7
その他	1.3	2.7	1.8	4.1

ホームスタート事業を知っているか(単数回答)[就学前問 77]

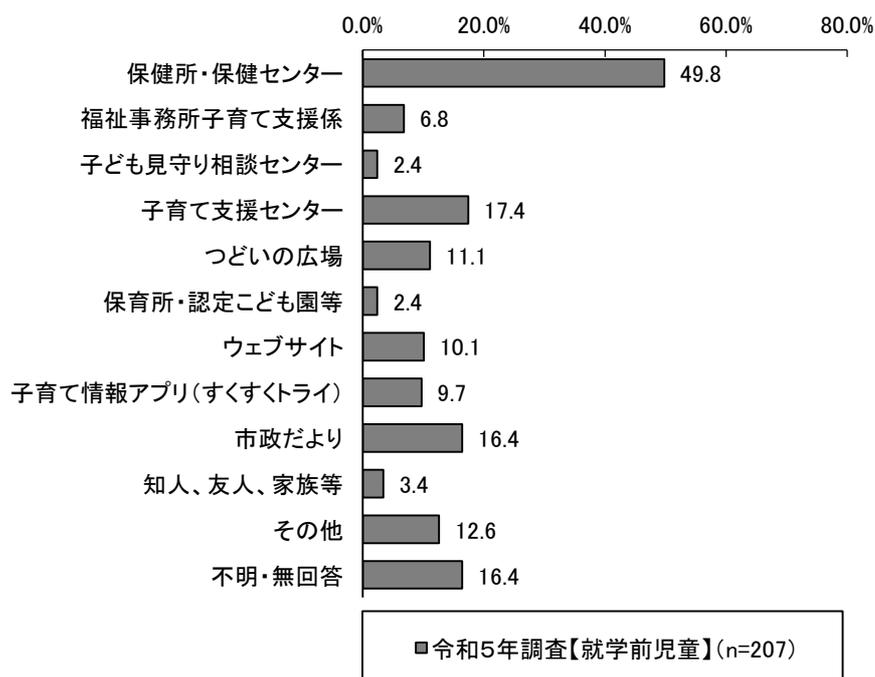
ホームスタート事業の認知度について、就学前児童では「いいえ (知らない)」が84.4%と最も高く、次いで「はい (知っている)」が10.1%となっています。



※ホームスタート…研修を受けた子育て経験者が、未就学児がいる家庭に、週1回2時間程度訪問し、一緒に家事・育児をしたり、話をしながら過ごす家庭訪問型の子育て支援。

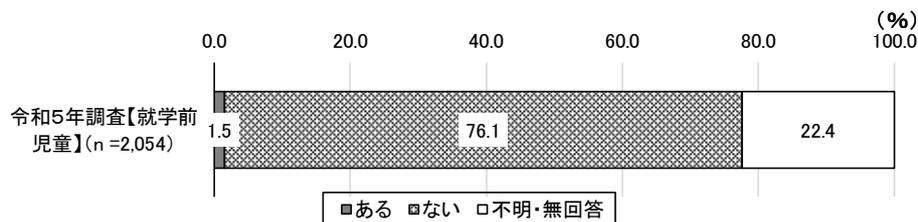
ホームスタート事業をどこで知ったか(複数回答)[就学前問 78]

ホームスタート事業をどこで知ったかについてみると、就学前児童では「保健所・保健センター」が49.8%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が17.4%、「市政だより」が16.4%となっています。



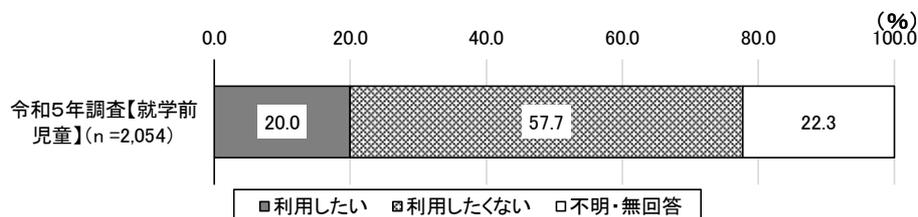
ホームスタート事業の利用経験(単数回答)[就学前問 77]

ホームスタート事業の利用経験について、就学前児童では「ない」が76.1%と最も高く、次いで「ある」が1.5%となっています。



ホームスタート事業の今後の利用意向(単数回答)[就学前問 77]

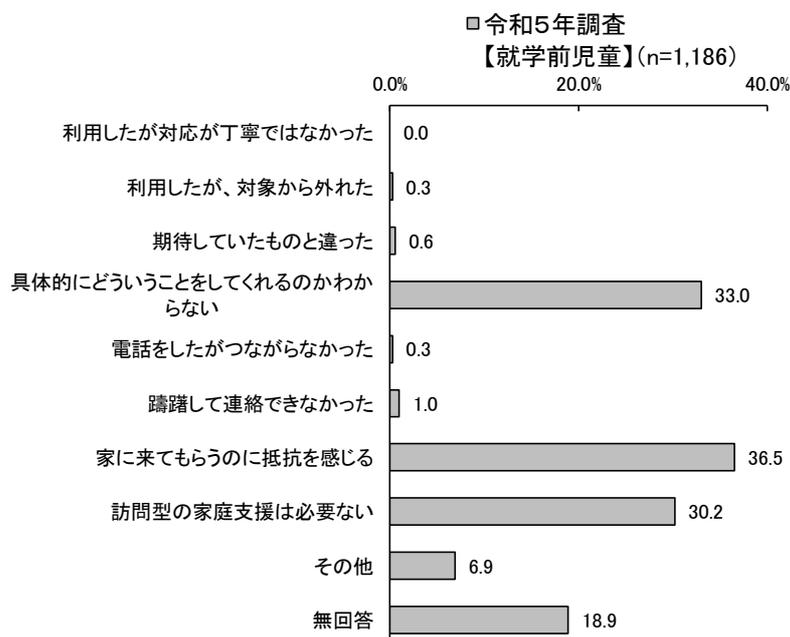
ホームサポート事業の利用意向について、就学前児童では「利用したいと思わない」が57.7%と最も高く、次いで「利用したい」が20.0%となっています。



問77で「ホームスタート事業」について今後の利用意向で「いいえ (利用したいと思わない)」に○をつけた方

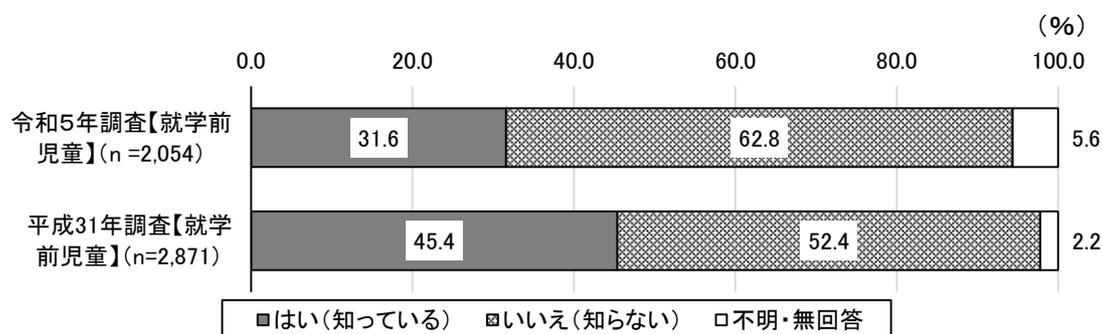
ホームスタート事業を利用しようと思わない理由(複数回答)[就学前問 79]

ホームスタート事業を利用しようと思わない理由についてみると、就学前児童では「家に来てもらうのに抵抗を感じる」が36.5%と最も高く、次いで「具体的にどうしてくれるのかわからない」が33.0%、「訪問型の家庭支援は必要ない」が30.2%となっています。



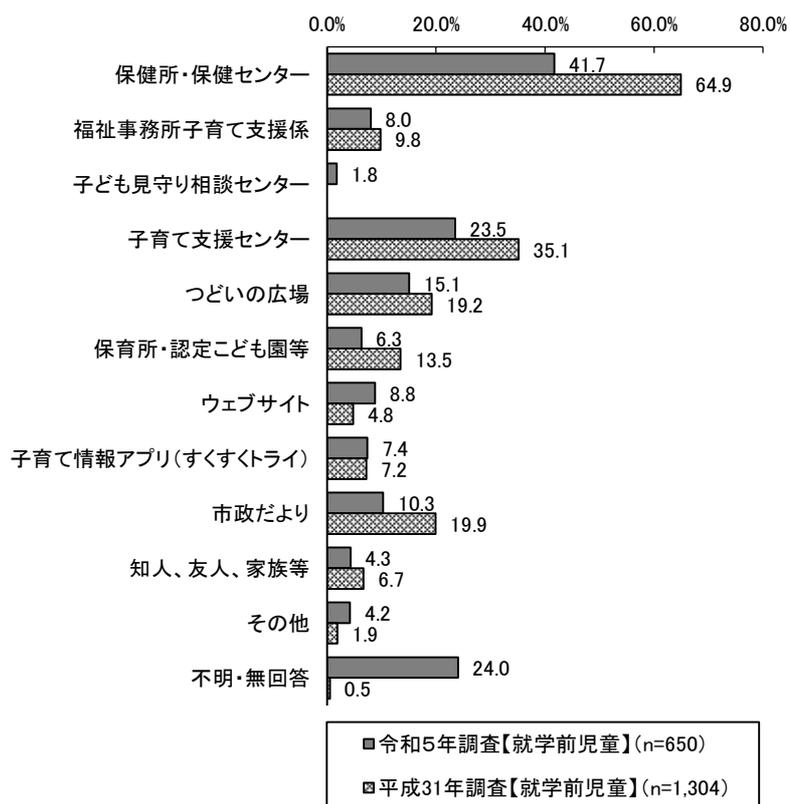
子育てサポーターを知っているか(単数回答)[就学前問 77]

子育てサポーターの認知度について、就学前児童では「いいえ (知らない)」が62.8%と最も高く、次いで「はい (知っている)」が31.6%となっています。



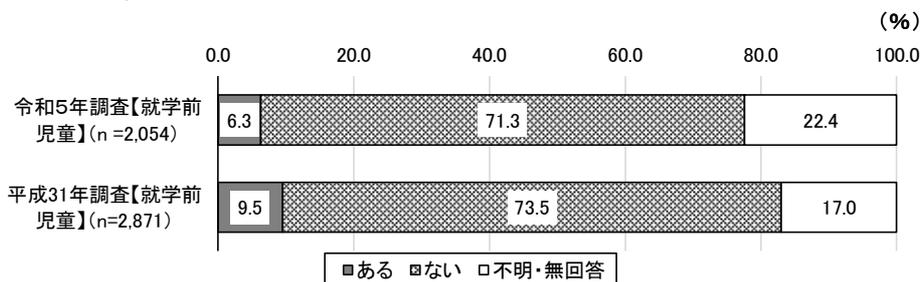
子育てサポーターをどこで知ったか(複数回答)[就学前問 78]

子育てサポーターをどこで知ったかについてみると、就学前児童では「保健所・保健センター」が41.7%と最も高く、次いで「子育て支援センター」が23.5%、「つどいの広場」が15.1%となっています。



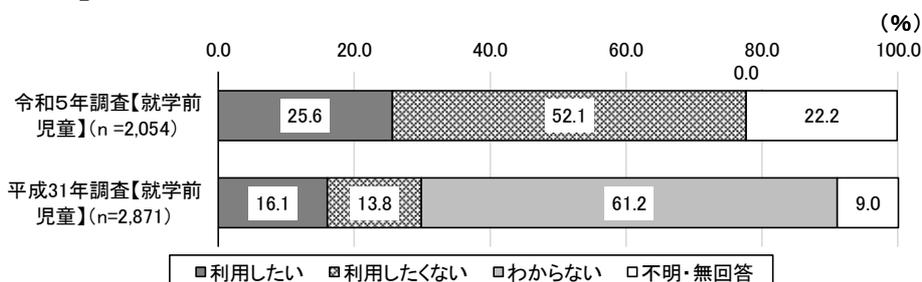
子育てサポーターの利用経験(単数回答)[就学前問 77]

子育てサポーターの利用経験について、就学前児童では「ない」が71.3%と最も高く、次いで「ある」が6.3%となっています。



子育てサポーターの今後の利用意向(単数回答)[就学前問 77]

子育てサポーターの利用意向について、就学前児童では「利用したいと思わない」が52.1%と最も高く、次いで「利用したい」が25.6%となっています。

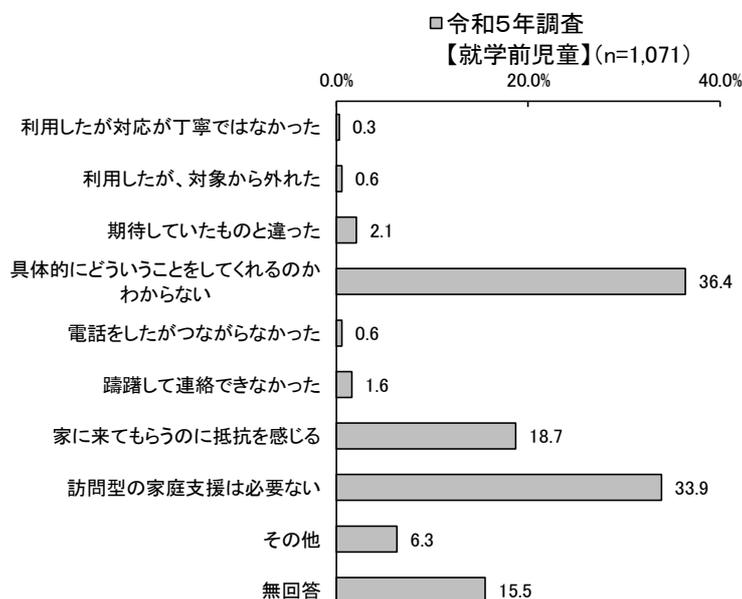


※令和5年調査においては「わからない」の選択肢については質問していない。

問77で「子育てサポーター」について今後の利用意向で「いいえ（利用したいと思わない）」に○をつけた方

子育てサポーターを利用しようと思わない理由(複数回答)[就学前問 79]

子育てサポーターを利用しようと思わない理由についてみると、就学前児童では「具体的にどうしてくれるのかわからない」が36.4%と最も高く、次いで「訪問型の家庭支援は必要ない」が33.9%、「家に来てもらうのに抵抗を感じる」が18.7%となっています。



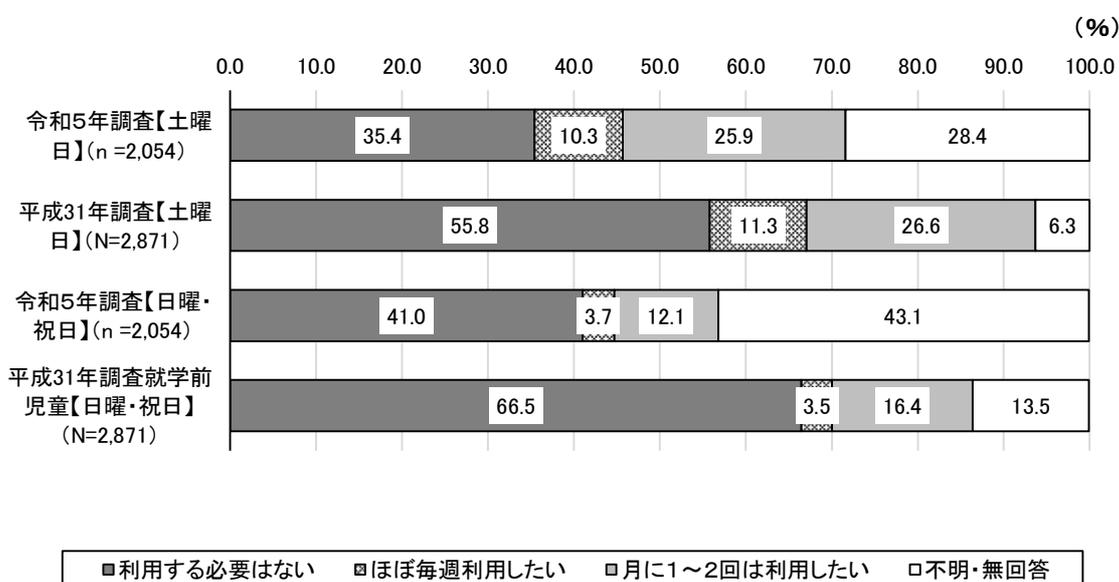
土曜日・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望に

ついて

定期的な教育保育事業の利用希望【土曜日/日曜・祝日】(単数回答)[就学前問 30]

定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日では「利用する必要はない」が35.4%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が25.9%、「ほぼ毎週利用したい」が10.3%となっています。

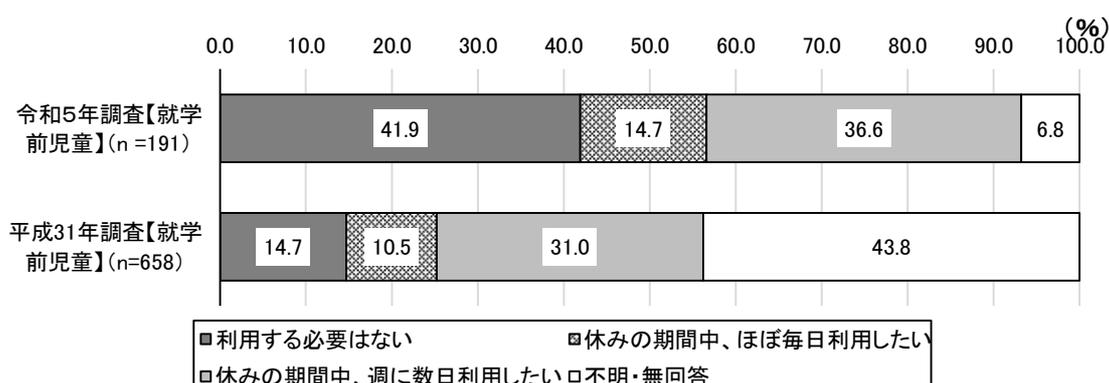
日曜・祝日では「利用する必要はない」が41.0%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」が12.1%、「ほぼ毎週利用したい」が3.7%となっています。



「幼稚園など」を利用されている方

幼稚園などに通うお子さんの教育・保育事業の利用希望【長期休暇中】(単数回答)[就学前問 31]

長期の休暇期間中の幼稚園などに通うお子さんの教育・保育事業の利用希望についてみると、就学前児童では「利用する必要はない」が41.9%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.6%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が14.7%となっています。

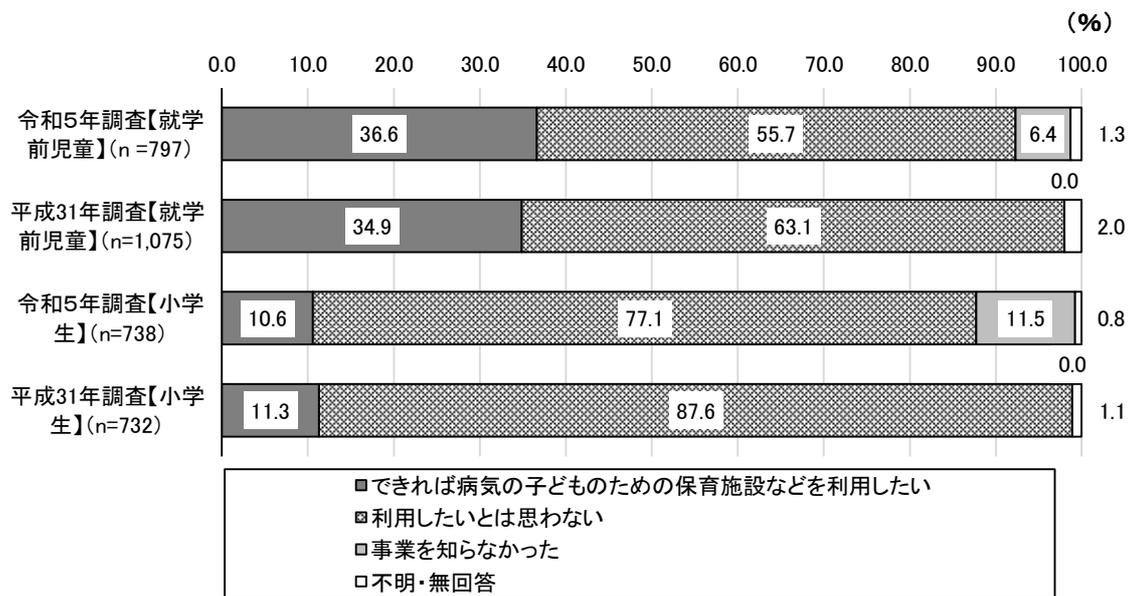


宛名のお子さんの病気の際の対応について

両親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思ったか(単数回答)[就学前問 35、小学生問 19]

両親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設等に預けたい」と思ったかについてみると、就学前児童では「預けたいとは思わない」が 55.7%、「できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」が 36.6%となっています。

小学生では「預けたいとは思わない」が 77.1%、「できれば病児・病後児保育施設等に預けたい」が 10.6%となっています。

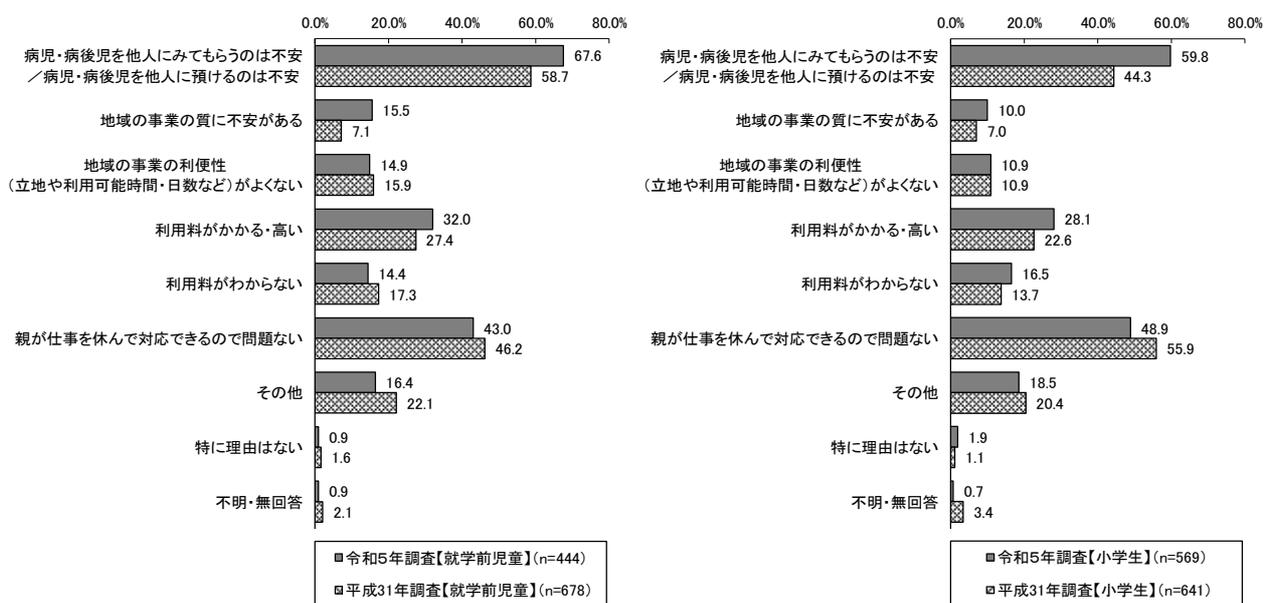


問 35(就学前)・問 19(小学生)で「2.預けたいとは思わない」に○をつけた方

預けたいと思わない理由(複数回答)[就学前問 37、小学生問 21]

病児・病後児保育施設等に預けたいと思わない理由についてみると、就学前児童では「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安／病児・病後児を他人に預けるのは不安」が67.6%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できるので問題ない」が43.0%、「利用料がかかる・高い」が32.0%となっています。

小学生では「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安／病児・病後児を他人に預けるのは不安」が59.8%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できるので問題ない」が48.9%、「利用料がかかる・高い」が28.1%となっています。

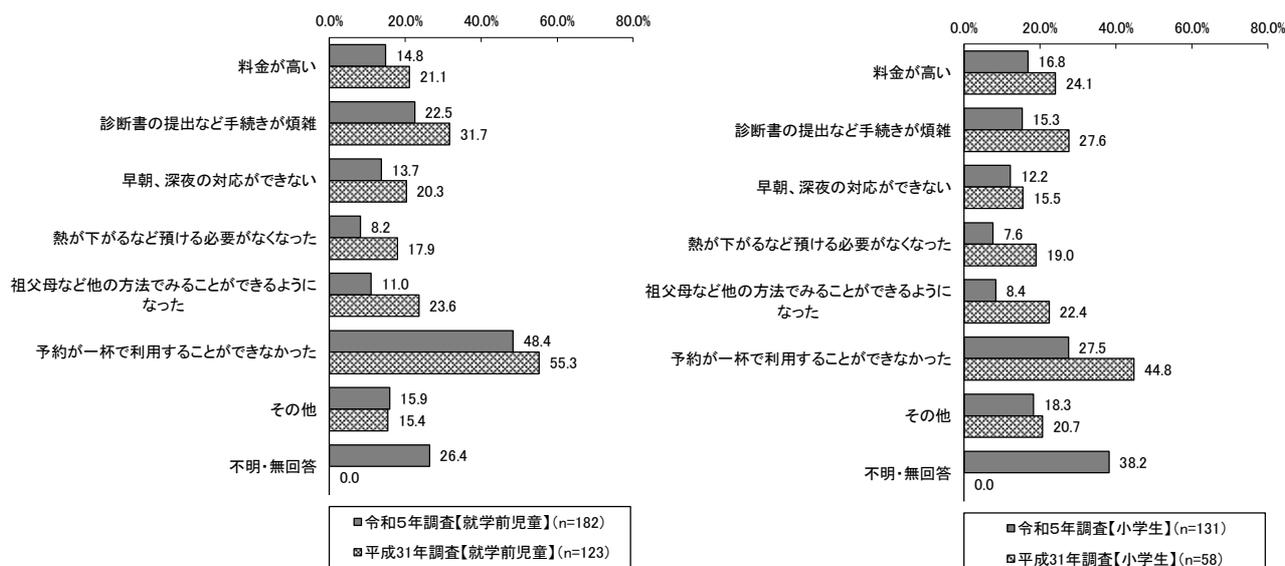


問 40(就学前)・問 23(小学生)で「1.病児・病後児保育の申込をしたことがある」に○をつけ、実際に利用しなかった方

病児・病後児保育の申込をして利用しなかった理由(複数回答)[就学前問 41、小学生問 24]

病児・病後児保育の申込をして利用しなかった理由についてみると、就学前児童では「予約が一杯で利用することができなかった」が48.4%と最も高く、次いで「診断書の提出など手続きが煩雑」が22.5%、「料金が高い」が14.8%となっています。

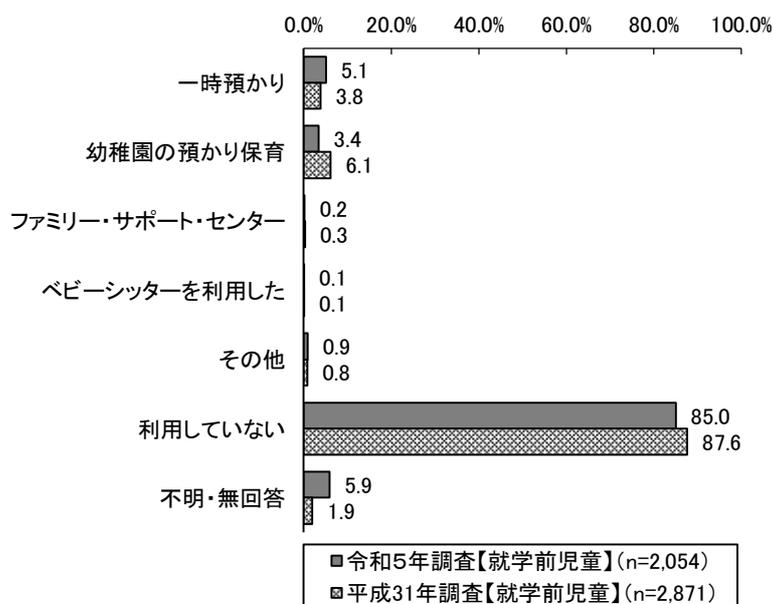
小学生では「予約が一杯で利用することができなかった」が27.5%と最も高く、次いで「診断書の提出など手続きが煩雑」が15.3%、「料金が高い」が16.8%となっています。



不定期の一時預かりや宿泊を伴う一時預かりについて

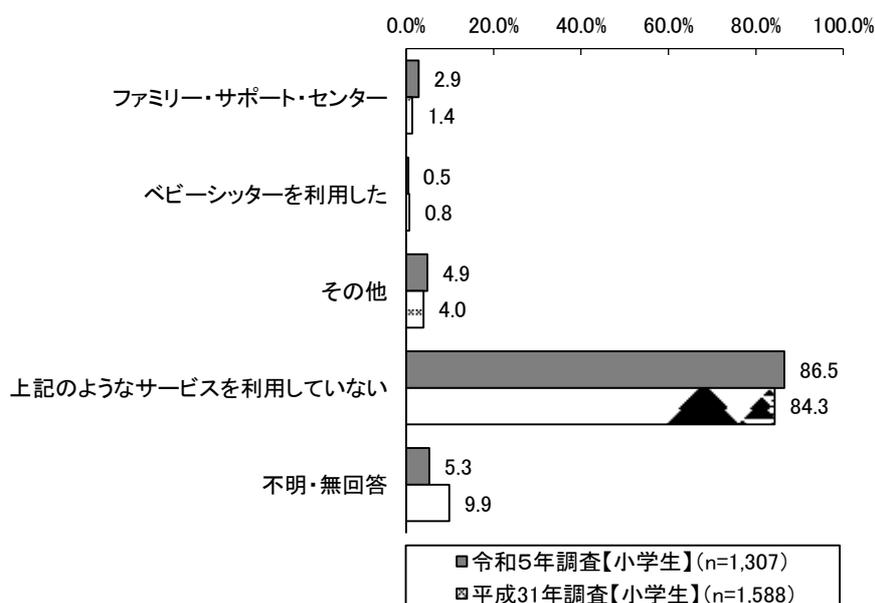
お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業(複数回答)[就学前問 42]

お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に冠婚葬祭、リフレッシュ、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業についてみると、就学前児童では「利用していない」が85.0%と最も高く、次いで「一時預かり」が5.1%、「幼稚園の預かり保育」が3.4%となっています。



お子さんについて、親の通院、不定期の就労等の目的で、家族以外の誰かに一時的に預けたこと(複数回答)[小学生問 48]

お子さんについて、親の通院、不定期の就労等の目的で、家族以外の誰かに一時的に預けたことについてみると、小学生では「上記のようなサービスを利用していない」が86.5%と最も高く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が2.9%、「ベビーシッターを利用した」が0.5%となっています。

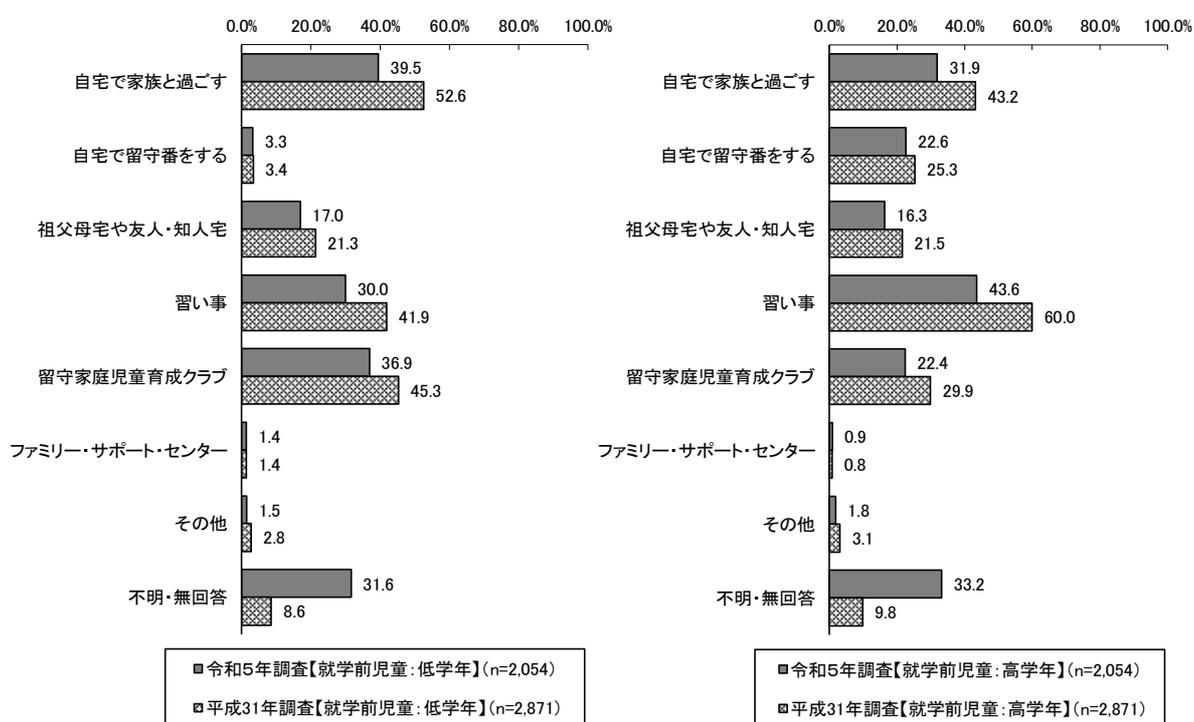


学校就学後の平日の放課後の過ごし方について(就学前児童)

小学校就学後の放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか(複数回答)[就学前問 53 (1)(2)]

小学校低学年(1～3年生)の時期、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますかについてみると、就学前児童では「自宅で家族と過ごす」が39.5%と最も高く、次いで「留守家庭児童育成クラブ」が36.9%、「習い事」が30.0%となっています。

小学校高学年(4～6年生)の時期では「習い事」が43.6%と最も高く、次いで「自宅で家族と過ごす」が31.9%、「自宅で留守番をする」が22.6%となっています。



(複数回答)単位: %

就学前児童	平成25年度【低学年】(n=3,148)	平成29年度【低学年】(n=2,454)	平成31年度【低学年】(n=2,623)	令和5年度【低学年】(n=1,404)
自宅で家族と過ごす	63.1	62.4	57.6	57.8
自宅で留守番をする	6.7	7.6	3.7	4.8
祖父母宅や友人・知人宅	27.0	26.9	23.3	24.9
習い事	63.2	62.9	45.9	43.9
留守家庭児童育成クラブ	44.1	44.1	49.6	54.0
ファミリー・サポート・センター	2.3	2.8	1.5	2.1
その他	2.1	1.8	3.0	2.2

(複数回答)単位: %

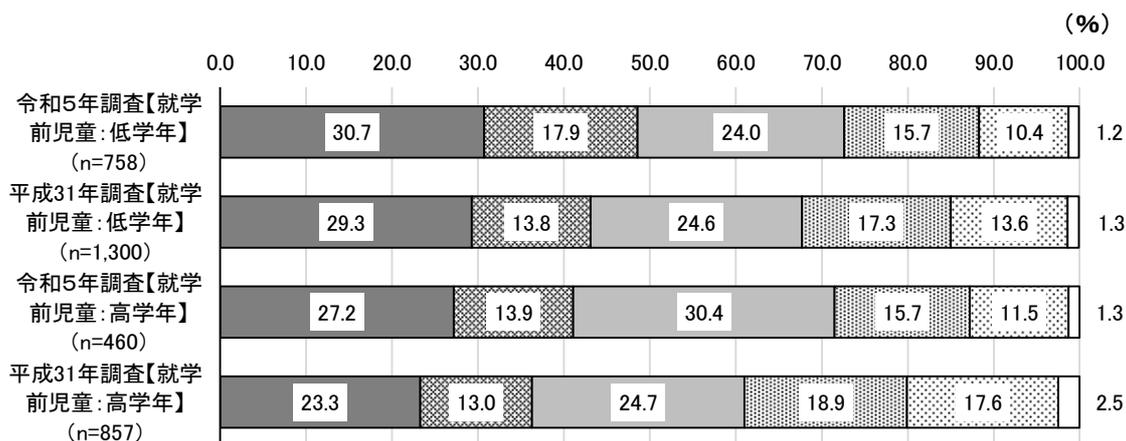
就学前児童	平成25年度【高学年】(n=3,148)	平成29年度【高学年】(n=2,454)	平成31年度【高学年】(n=2,590)	令和5年度【高学年】(n=1,373)
自宅で家族と過ごす	57.8	58.0	47.9	47.8
自宅で留守番をする	24.6	28.2	28.1	33.8
祖父母宅や友人・知人宅	29.3	29.0	23.8	24.4
習い事	70.9	71.6	66.6	65.2
留守家庭児童育成クラブ	32.2	29.3	33.1	33.5
ファミリー・サポート・センター	2.0	2.3	0.9	1.4
その他	2.0	2.0	3.4	2.6

問 53 の(1)または(2)(就学前)で「5.留守家庭児童育成クラブ(放課後児童クラブ)」に○をつけた方

留守家庭児童育成クラブの利用を希望する時間帯(単数回答)[就学前問 53(3)]

留守家庭児童育成クラブの利用を希望する時間帯についてみると、就学前児童で低学年の間では「放課後から 17 時 00 分まで」が 30.7%と最も高く、次いで「放課後から 18 時 00 分まで」が 24.0%、「放課後から 17 時 30 分まで」が 17.9%となっています。

高学年の間では「放課後から 18 時 00 分まで」が 30.4%と最も高く、次いで「放課後から 17 時 00 分まで」が 27.2%、「放課後から 18 時 30 分まで」が 15.7%となっています。



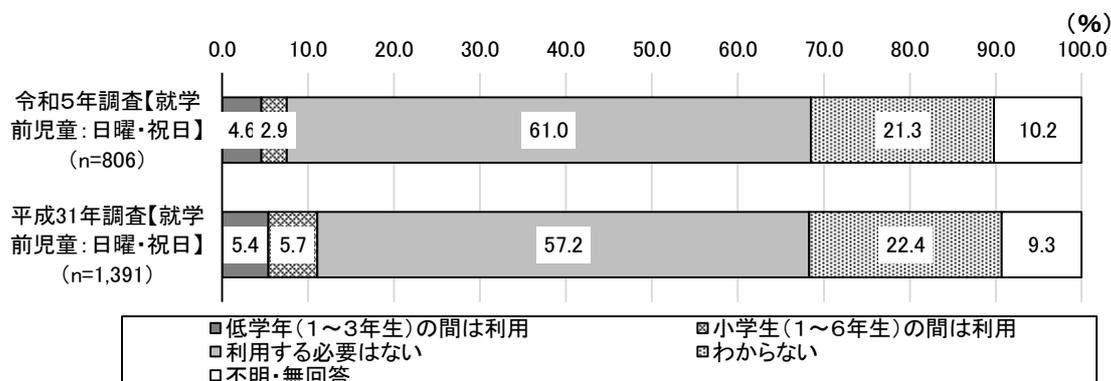
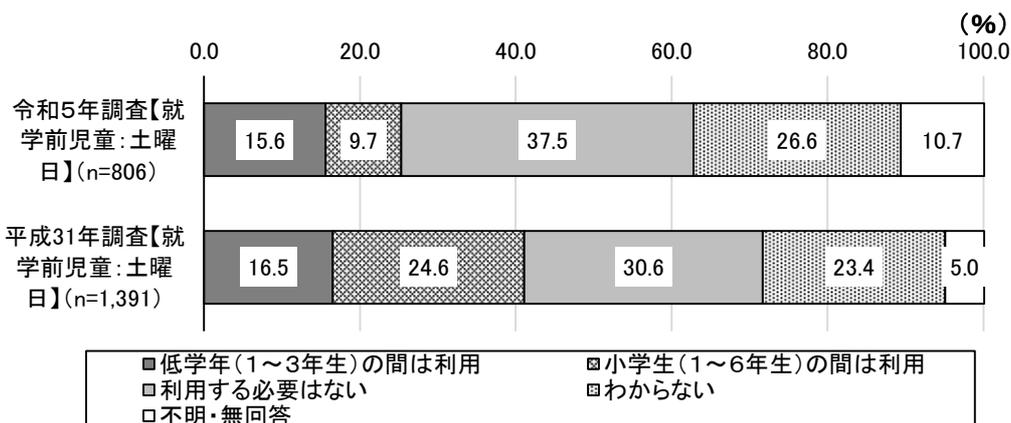
■放課後から17時00分まで □放課後から17時30分まで □放課後から18時00分まで
 □放課後から18時30分まで □放課後から19時00分まで □不明・無回答

問 53(1)もしくは(2)(就学前)で「5.留守家庭児童育成クラブ(放課後児童クラブ)」に○をつけた方

留守家庭児童育成クラブの利用希望【土曜日/日曜・祝日】(単数回答)[就学前問 54(1)(2)]

土・日・祝日の留守家庭児童育成クラブの利用希望についてみると、就学前児童で土曜日では「利用する必要はない」が 37.5%と最も高く、次いで「わからない」が 26.6%、「低学年(1～3年生)の間は利用」が 15.6%となっています。

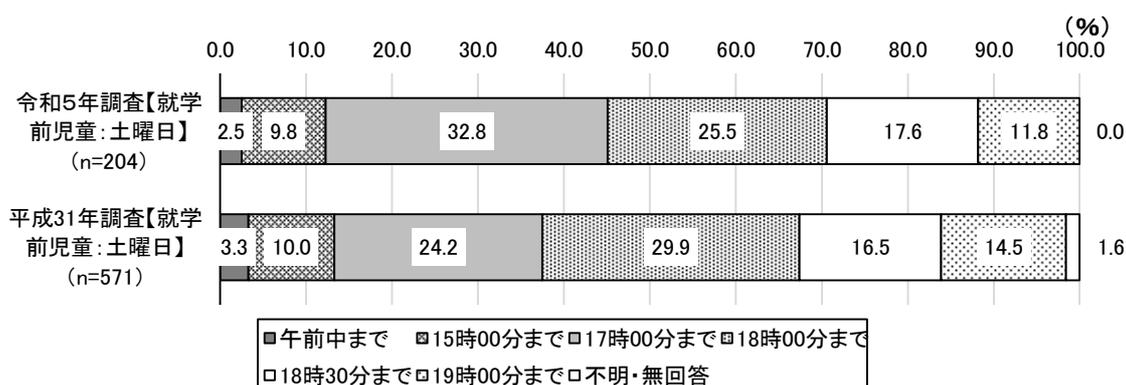
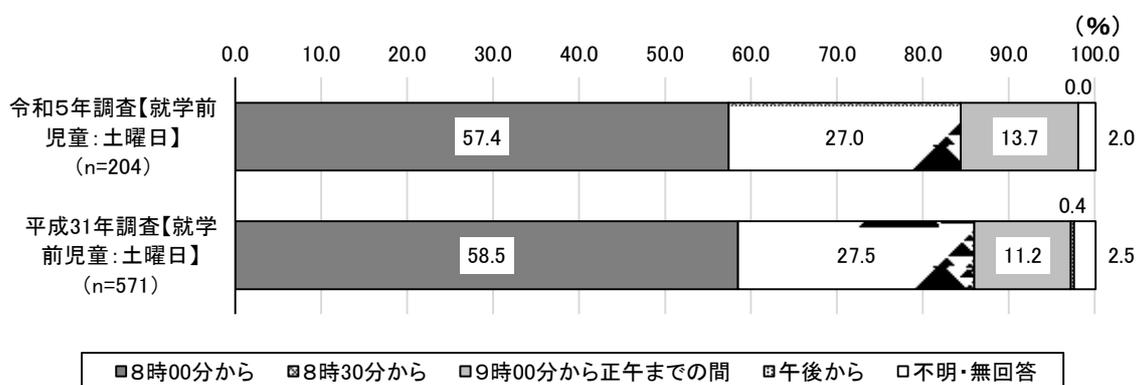
就学前児童で日曜・祝日では「利用する必要はない」が61.0%と最も高く、次いで「わからない」が21.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用」が 4.6%となっています。



留守家庭児童育成クラブの希望する利用時間帯【土曜日】(単数回答)[就学前問 54(1)]

留守家庭児童育成クラブの希望する利用時間帯についてみると、就学前児童【土曜日】の開始時間では「8時00分から」が57.4%と最も高く、次いで「8時30分から」が27.0%、「9時00分から正午までの間」が13.7%となっています。

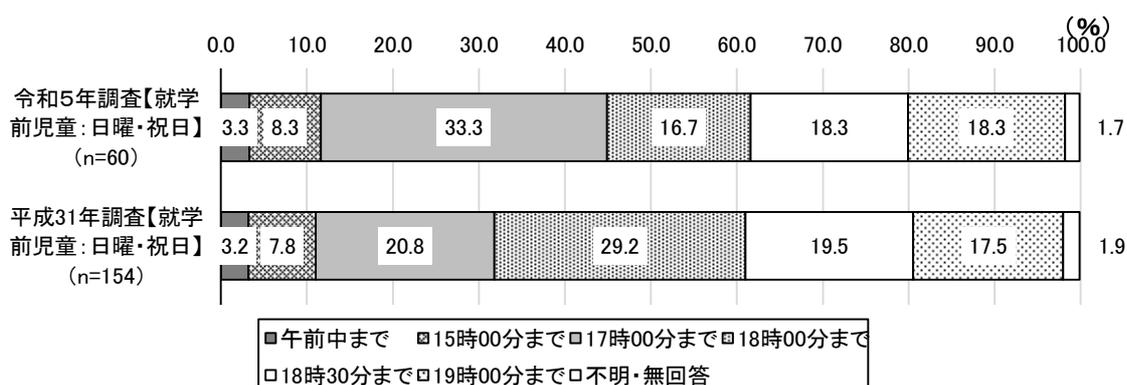
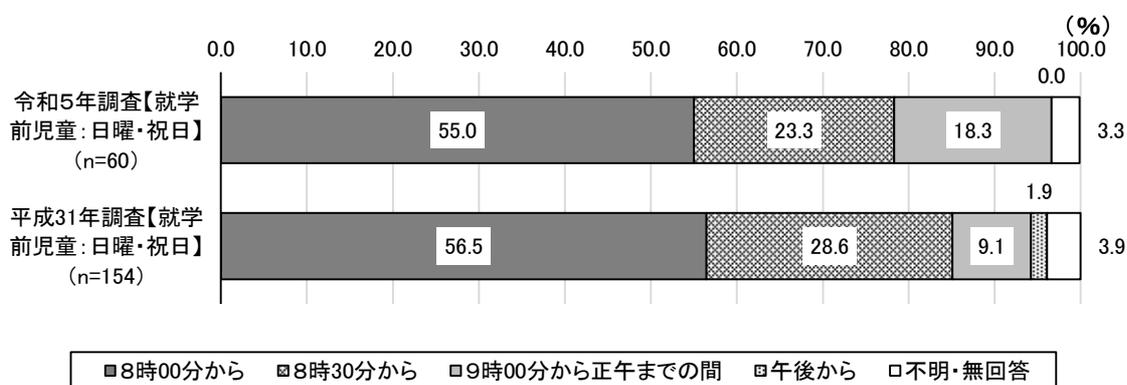
終了時間では「17時00分まで」が32.8%と最も高く、次いで「18時00分まで」が25.5%、「18時30分まで」が17.6%となっています。



留守家庭児童育成クラブの希望する利用時間帯【日曜・祝日】(単数回答)[就学前問 54(2)]

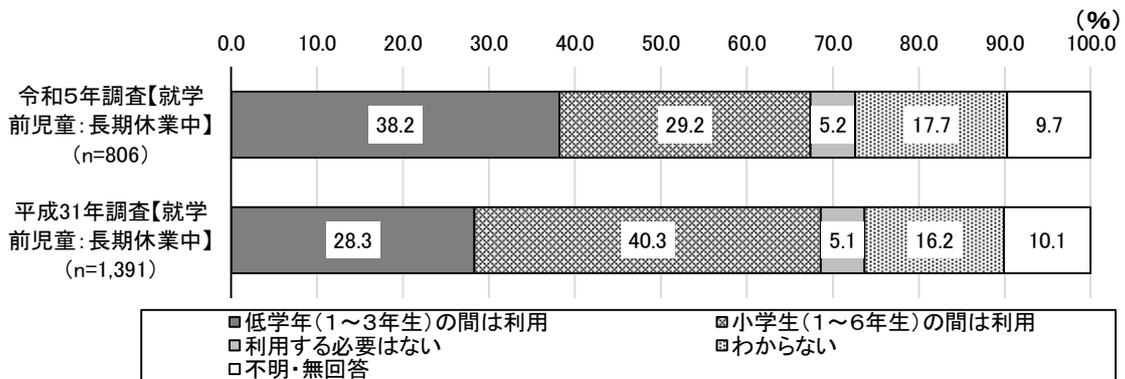
留守家庭児童育成クラブの希望する利用時間帯についてみると、就学前児童で日曜・祝日の開始時間では「8時00分から」が55.0%と最も高く、次いで「8時30分から」が23.3%、「9時00分から正午までの間」が18.3%となっています。

終了時間では「17時00分まで」が33.3%と最も高く、次いで「18時30分まで」「19時00分まで」が18.3%、「18時00分まで」が16.7%となっています。



留守家庭児童育成クラブの利用希望【長期休業中】(単数回答)[就学前問 54(3)]

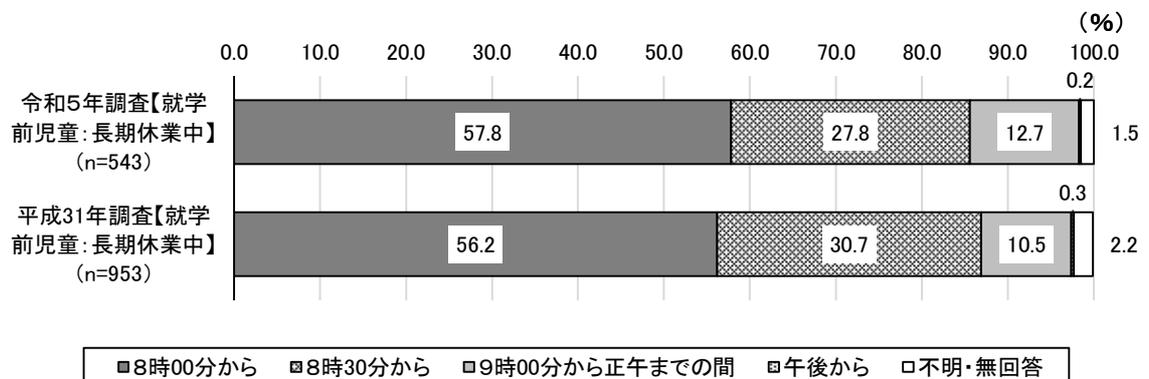
長期休業中の留守家庭児童育成クラブの利用希望についてみると、就学前児童では「低学年(1～3年生)の間は利用」が38.2%と最も高く、次いで「小学生(1～6年生)の間は利用」が29.2%、「わからない」が17.7%となっています。



留守家庭児童育成クラブの希望する利用時間帯【長期休業中】(単数回答)[就学前問 54(3)]

長期休業中の留守家庭児童育成クラブの希望する利用時間帯についてみると、就学前児童【長期休業中】の開始時間では「8時00分から」が57.8%と最も高く、次いで「8時30分から」が27.8%、「9時00分から正午までの間」が12.7%となっています。

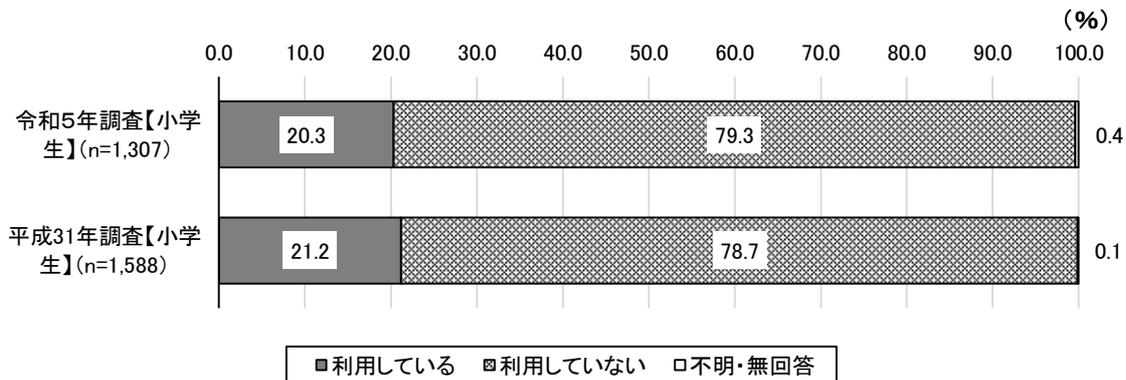
終了時では「17時00分まで」が35.0%と最も高く、次いで「18時00分まで」が31.7%、「18時30分まで」が15.7%となっています。



平日の放課後の過ごし方について(小学生)

お子さんは、現在、市が実施している留守家庭児童育成クラブ(放課後児童クラブ)を利用しているか(単数回答)[小学生問 25]

お子さんは、現在、市が実施している留守家庭児童育成クラブ(放課後児童クラブ)を利用しているかについてみると、小学生では「利用していない」が79.3%、「利用している」が20.3%となっています。

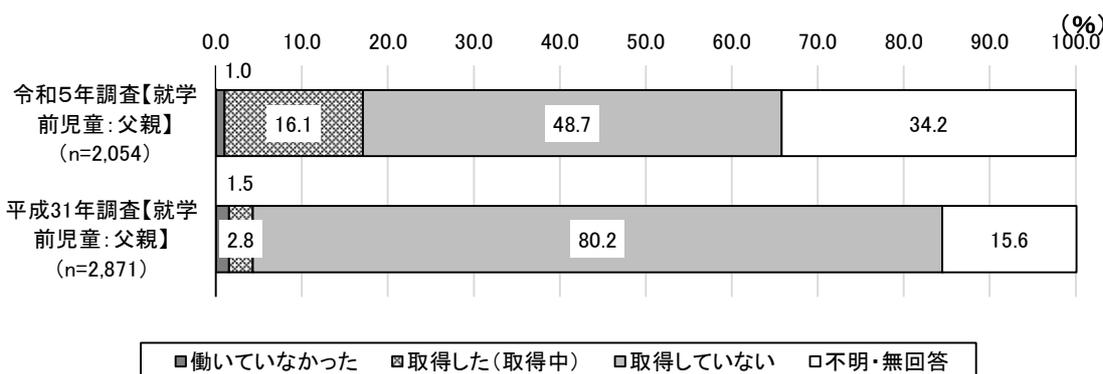
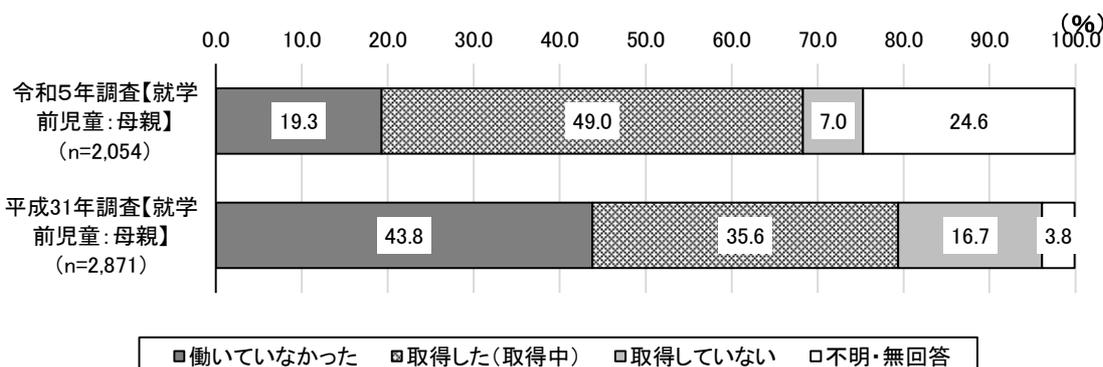


育児休業制度など、仕事と子育ての両立について

育児休業の取得状況(単数回答)[就学前問 57]

育児休業の取得状況についてみると、就学前児童の母親では「取得した(取得中)」が49.0%と最も高く、次いで「働いていなかった」が19.3%、「取得していない」が7.0%となっています。

父親では「取得していない」が48.7%と最も高く、次いで「取得した(取得中)」が16.1%、「働いていなかった」が1.0%となっています。



単位: %

就学前児童	平成25年度【母親】 (n=3,148)	平成29年度【母親】 (n=2,454)	平成31年度【母親】 (n=2,871)	令和5年度【母親】 (n=2,054)
働いていなかった	45.1	51.1	43.8	19.3
取得した(取得中)	22.1	29.1	35.6	49.0
取得していない	12.5	16.8	16.7	7.0
不明・無回答	20.3	3.1	3.8	24.6

単位: %

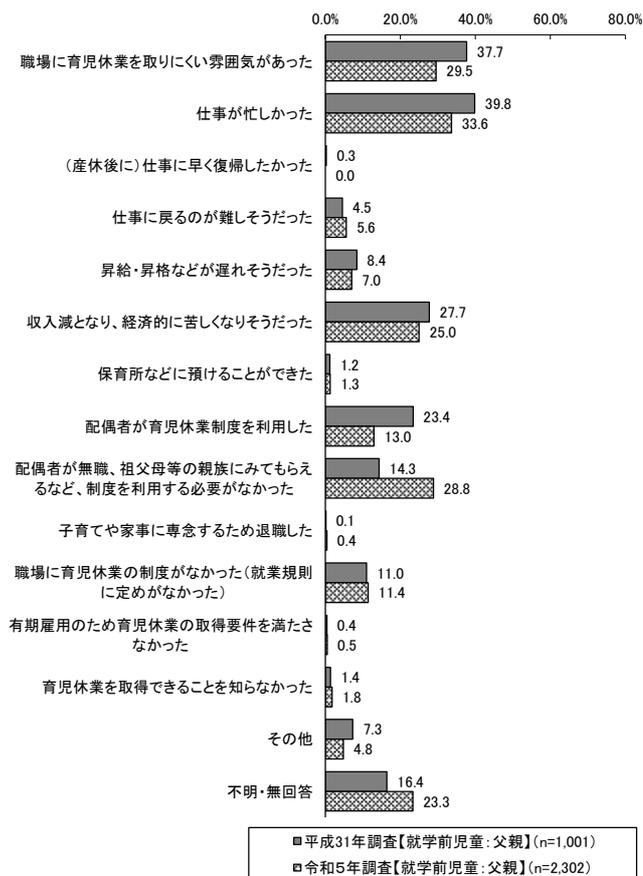
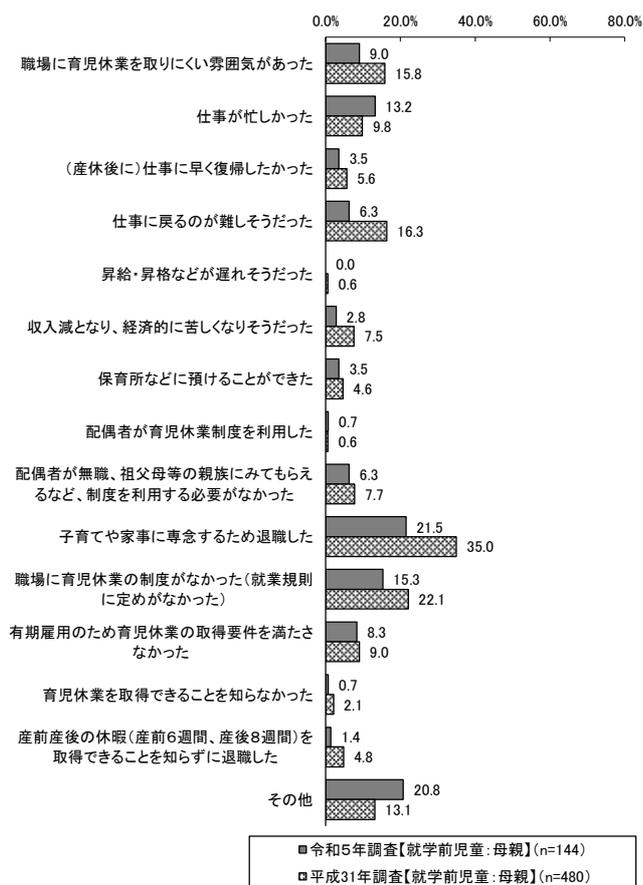
就学前児童	平成25年度【父親】 (n=3,148)	平成29年度【父親】 (n=2,454)	平成31年度【父親】 (n=2,871)	令和5年度【父親】 (n=2,054)
働いていなかった	0.8	2.6	1.5	1.0
取得した(取得中)	2.0	2.5	2.8	16.1
取得していない	61.2	84.6	80.2	48.7
不明・無回答	36.0	10.2	15.6	34.2

問 57 で「3.取得していない」に○をつけた方

育児休業を取得していない理由(複数回答)[就学前問 58]

育児休業を取得していない理由についてみると、就学前児童の母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が21.5%と最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が15.3%、「仕事が忙しかった」が13.2%となっています。

父親では「仕事が忙しかった」が39.8%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が37.7%、「収入減となり、経済的に苦しくなりそうだった」が27.7%となっています。

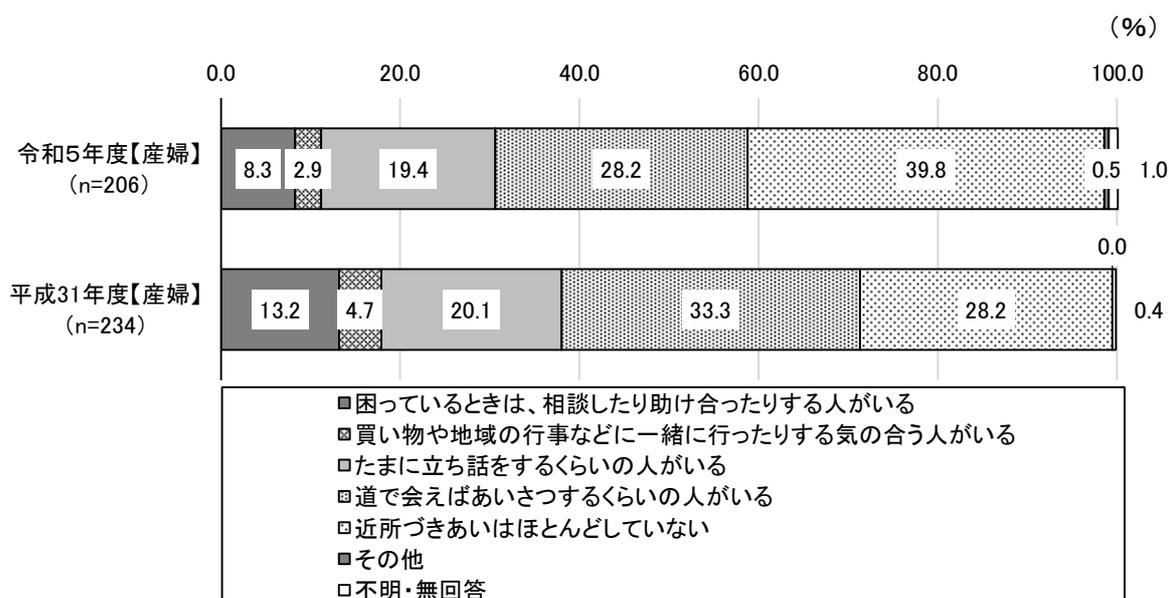


第3章 調査結果について(産婦)

あなたとご家族の状況について

近所付き合いの程度(単数回答)[産婦問 5]

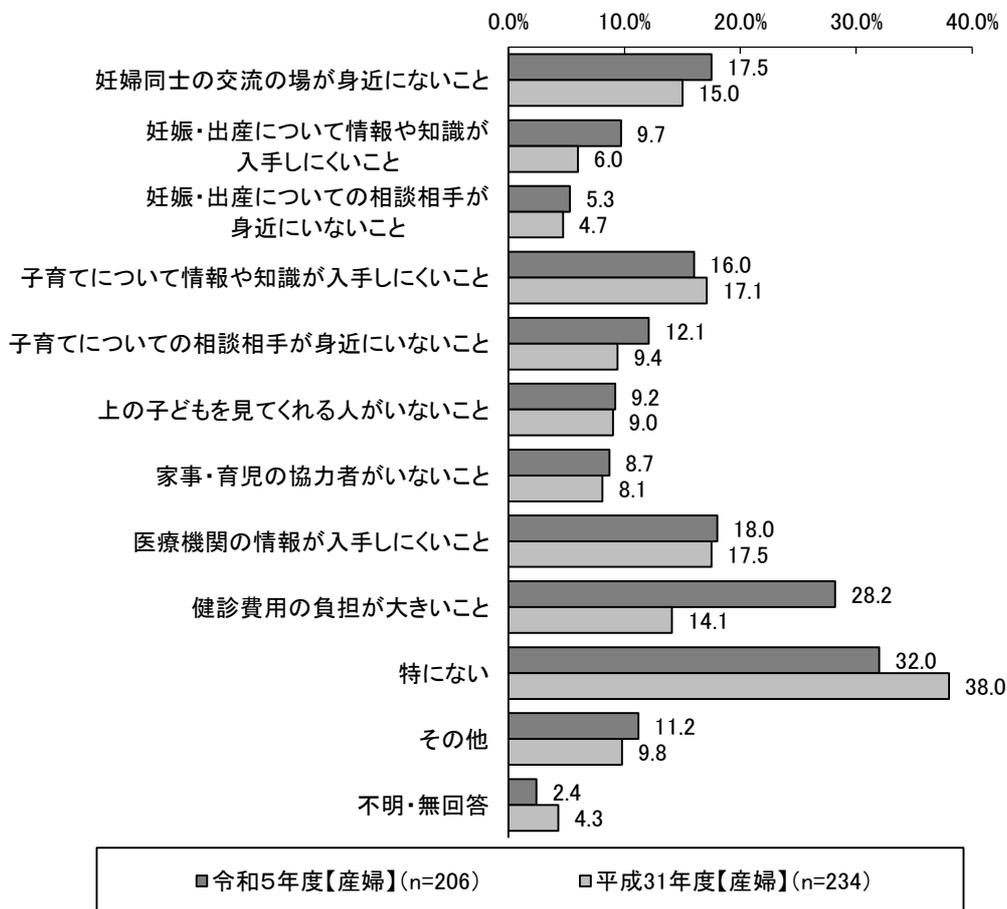
近所付き合いの程度についてみると、産婦では「近所づきあいはほとんどしていない」が39.8%と最も高く、次いで「道で会えばあいさつするくらいの人がある」が28.2%、「たまに立ち話をするくらいの人がある」が19.4%となっています。



妊娠や出産について困ったことや、現在子育てについて困っていること(複数回答)

[産婦問 14]

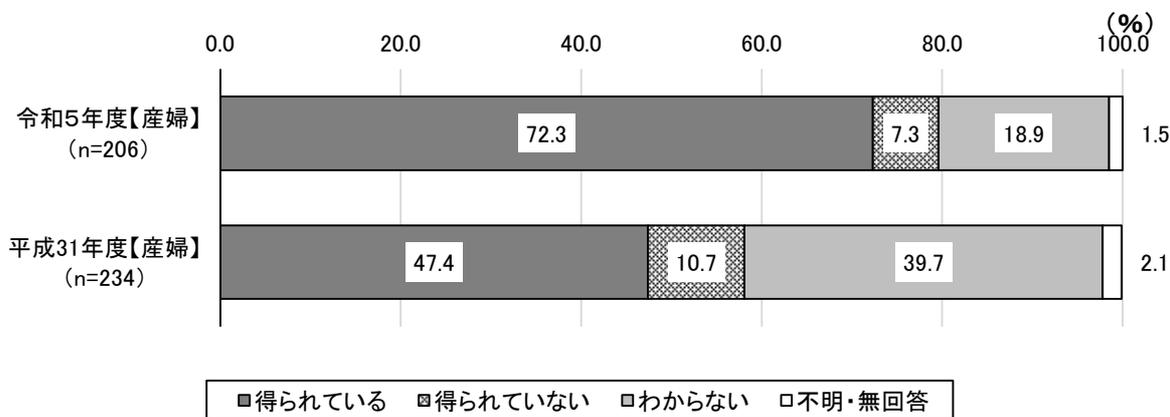
妊娠や出産について困ったことや、現在子育てについて困っていることはありますかについてみると、産婦では「特にない」が32.0%と最も高く、次いで「健診費用の負担が大きいこと」が28.2%、「医療機関の情報が入手しにくいこと」が18.0%となっています。



妊娠・出産や子育てに関する相談や情報入手について

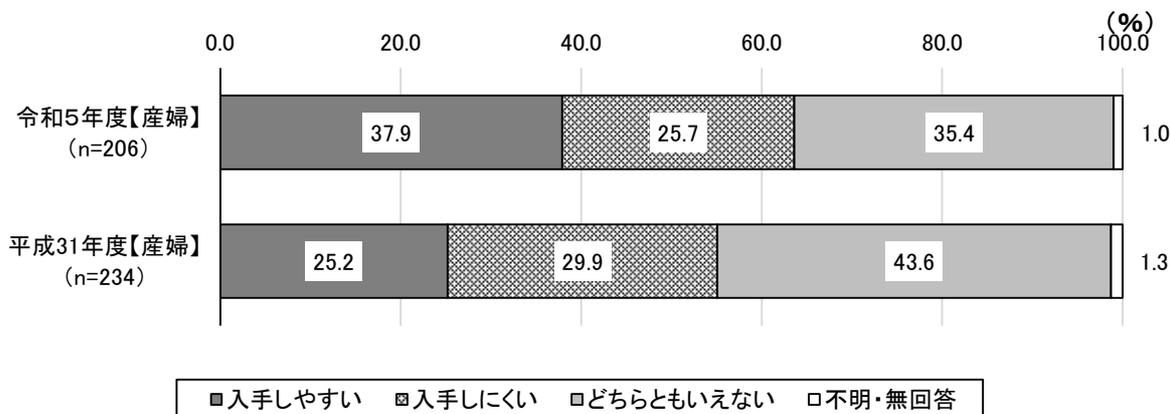
妊娠・出産、子育てに必要な情報を得られていると思うか(単数回答)[産婦問 19]

妊娠・出産、子育てに必要な情報を得られていると思うかについてみると、「得られている」が72.3%と最も高く、次いで「わからない」が18.9%、「得られていない」が7.3%となっています。



子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じるか(単数回答)[産婦問 20]

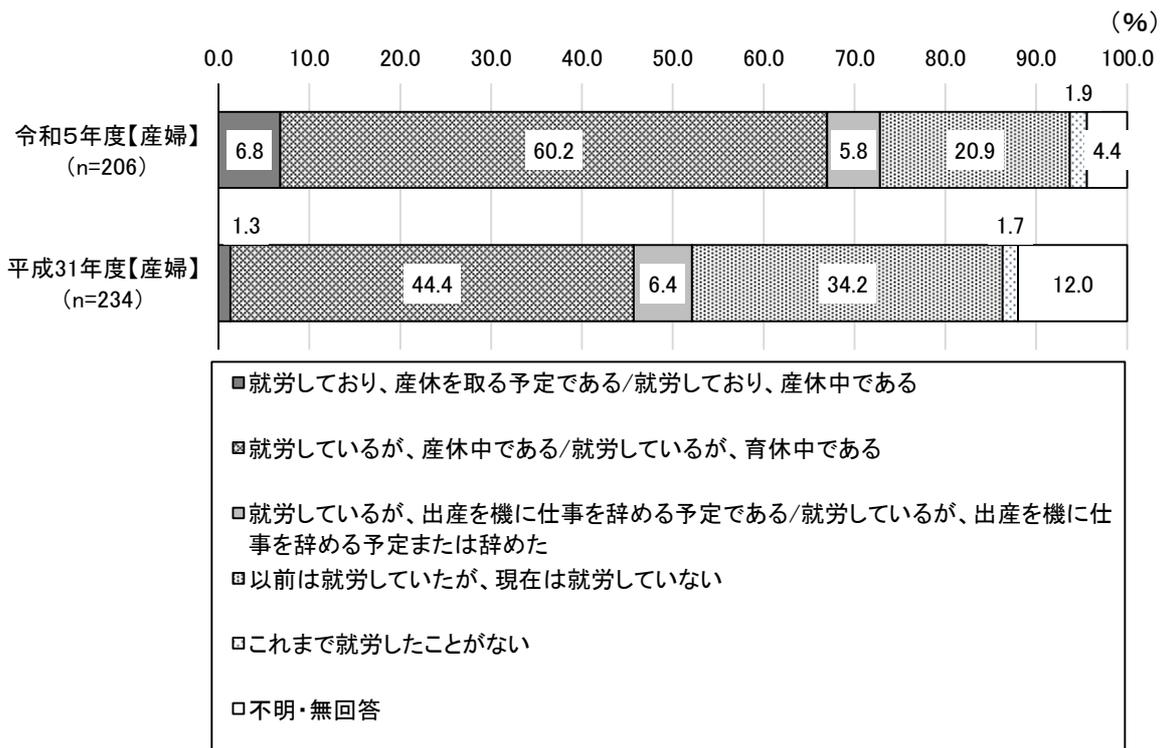
子育て支援サービスの情報は、入手しやすいと感じるかについてみると、産婦では「入手しやすい」が37.9%と最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.4%、「入手しにくい」が25.7%となっています。



就労状況と職場の両立支援制度について

あなたの現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)(単数回答)[産婦問 28]

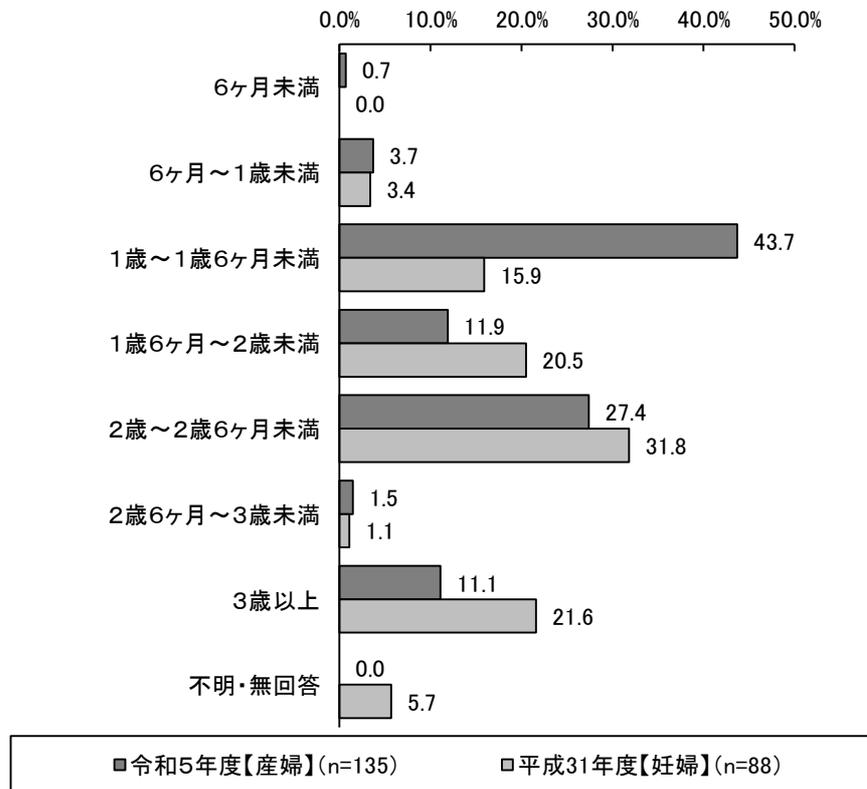
あなたの現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)についてみると、「就労しているが、産休中である/就労しているが、育休中である」が60.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.9%、「就労しており、産休を取る予定である/就労しており、産休中である」が6.8%となっています。



問 28 で「2. 就労しているが、育休中である」及び問 29 で「1. 育児休業を取得する予定である」に○をつけた方

希望する育児休業の取得期間(お子さんの年齢)[妊婦問 30]

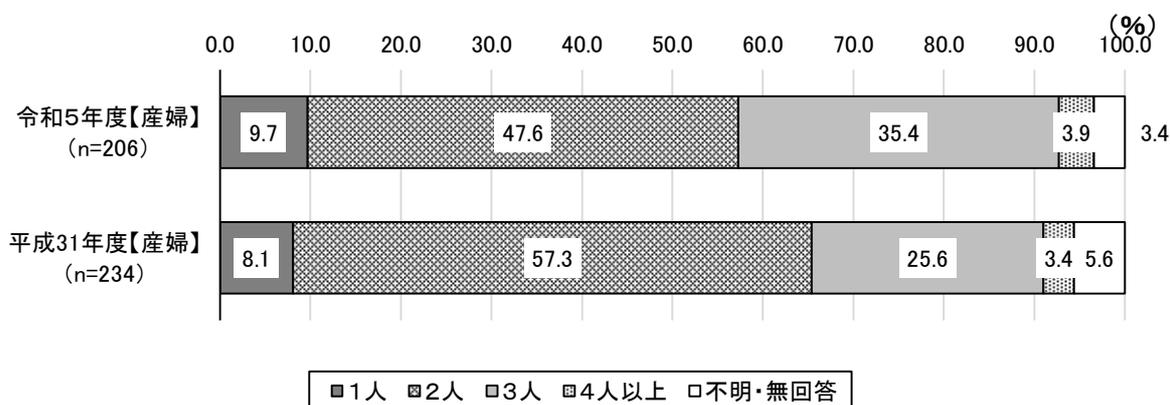
希望する育児休業の取得期間についてみると、「1歳～1歳6ヶ月未満」が43.7%と最も高く、次いで「2歳～2歳6ヶ月未満」が27.4%、「1歳6ヶ月～2歳未満」が11.9%となっています。



子どもや子育てについて

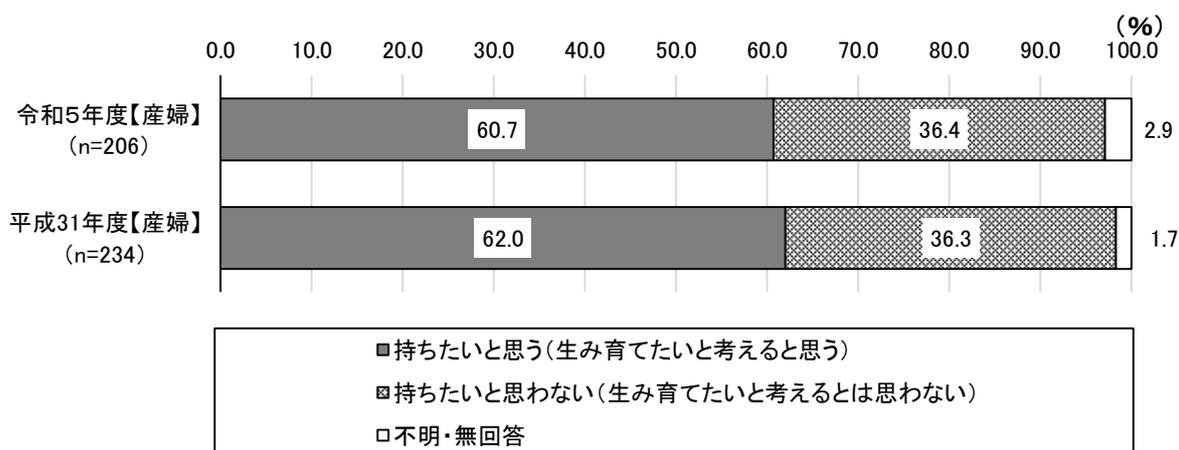
希望する子どもの人数(数量)[産婦問 32]

希望する子どもの人数についてみると、「2人」が47.6%と最も高く、次いで「3人」が35.4%、「1人」が9.7%となっています。



現在の家庭教育環境等においても、もう一人以上子どもを持ちたいと思うか(単数回答)[産婦問 32]

現在の家庭・教育環境等においても、もう一人以上子どもを生み育てたいと思うかについてみると、「持ちたいと思う(生み育てたいと思う)」が60.7%、「持ちたいと思わない(生み育てたいとは思わない)」が36.4%となっています。



お子さんについて、お子さんについて、認定こども園や保育所、幼稚園等に何歳くらいから預けたいか(単数回答)[産婦問 34]

お子さんについて、認定こども園や保育所、幼稚園等に何歳くらいから預けたいかについてみると、「1歳くらいから認定こども園や保育所に預けたい」が41.7%と最も高く、次いで「2歳くらいから認定こども園や保育所に預けたい」が23.8%、「3歳くらいから認定こども園や保育所、幼稚園に預けたい」が24.3%となっています。

